

KEIO

あなたと あたらしい あしたへ — 京王グループ

安全・社会・環境報告書 2015 CSRレポート



編集方針

本報告書は、多角的な事業を展開する京王グループの活動を安全・社会・環境面から捉え、どのような考えを持って取り組んでいるかを、分かりやすくお伝えするものです。

当社の最大の使命である安全への取り組みをはじめとして、ステークホルダーに対する取り組みが伝わるよう留意しました。

なお、より詳しく、視覚的、タイムリーにお伝えするため、京王ホームページ、京王ニュース、環境・CSRポスター、インベスターズガイドなどでも適切な情報発信に努めています。あわせてご覧ください。

本報告書は、鉄道事業法第19条の4により公表が義務付けられた「安全報告書」を兼ねているほか、皆様とのコミュニケーションを深めるための重要なツールと位置付けています。

【報告範囲・報告期間】

- 本報告書は、京王電鉄単体(鉄道事業部門、開発事業部門、一般管理部門)の2014年度(2014年4月1日～2015年3月31日)の報告です。当該年度以外の事例や京王グループの事例も一部掲載しています。
- 環境負荷データおよび環境会計データは、京王電鉄単体の2012年度～2014年度のデータです。

【参考にした報告ガイドライン】

- 鉄道事業者による安全報告書の作成手引き(国土交通省)
- 環境報告ガイドライン(2012年版、環境省)

●京王グループのCSRに関する情報は、以下の媒体で公表しています

安全・社会・環境報告書

安全への取り組みをはじめ、社会貢献、環境保全活動まで、1年間の取り組みを、幅広いステークホルダーの皆様へご報告しています。



環境・CSRポスター

CSRイベントの活動報告として、駅構内に掲示しています。



インベスターズガイド

株主・投資家の皆様へ、財務情報から、CSR情報まで、年2回定期的に報告しています。



京王ニュース

沿線に関わるお役立ち情報や社会貢献イベントなどを掲載し、新聞折込や駅構内などで配布しています。



京王ホームページ

お客様から、投資家、専門家の方まで、幅広いステークホルダーとのコミュニケーションサイトです。



安全・社会・環境報告書 2015 CSRレポート

編集方針	02
目次	03
トップメッセージ	04
コーポレート・ガバナンス体制	06

安全報告

輸送の安全性向上に向けて、運輸安全 マネジメントを推進／メッセージ	10
安全方針・2014年度安全重点施策	11
安全管理体制・安全管理方法	12
人材の育成	14
安全文化の構築	16
危機に備えた訓練	18
施設・設備の取り組み	20
日々の保守管理	26
災害等への備え	28
2014年度輸送安全実績	30
中期3カ年経営計画／ 2015年度安全目標・安全重点施策	31
お客様との連携	32
グループ会社の安全対策	34

社会性報告

「住んでもらえる、選んでもらえる」沿線づくりに 取り組んでいます／メッセージ	36
お客様の利便性・快適性の向上	38
地域社会・行政との連携	43
お客様との対話	44
多世代が生活しやすい沿線づくり	46
地域社会への貢献	48
株主・投資家の皆様との対話	50
人材の活用と働きやすい職場づくり	51

環境報告

企業の社会的責任の一環として グループ環境経営を推進／メッセージ	56
環境方針	57
特集 環境負荷低減に向けた省エネルギー施策	58
環境マネジメント	60
低炭素社会を目指して	62
循環型社会を目指して	64
自然共生社会を目指して	66
そのほかの取り組み	69
環境関連データ	70

TOPICS 高尾エリアの活性化	72
京王電鉄の概要	74
第三者意見	75

●【表紙の解説】～リニューアルした高尾山口駅舎～

高尾山の玄関口である京王線高尾山口駅が2015年4月24日にリニューアルしました。

新しい高尾山口駅舎は、日本を代表する建築家の隈 研吾氏のデザインにより、来訪されるお客様の印象に残る「高尾山の玄関口としてふさわしい“自然と調和し、和を感じる”“わくわくする”雰囲気をもった」駅舎へと生まれ変わりました。

※表紙の写真の一部は加工してあります。



これからも愛され、期待される 京王グループであるよう努力し続けます



京王電鉄株式会社 代表取締役会長兼社長

永田正

安全対策のさらなる強化と、安全を人で支える 仕組みづくりに取り組んでいます

京王グループは「つながりあうすべての人に誠実であり」、「環境にやさしく」「信頼のトップブランド」となることを京王グループ理念として掲げています。

そして、「信頼のトップブランド」となるため、京王グループ行動規範を制定し、企業活動の指針としています。

当社をはじめ、京王グループのすべての運輸事業者は「安全」を最重要課題ととらえ、「『安全』は最大の使命であり、最高のサービスである」との方針のもと、事業を展開しています。

鉄道事業では、2014年度も、鉄道の「さらなる安全性向上」への取り組みとして、京王線(笹塚駅～仙川駅間)連続立体交差事業について、踏切25カ所の解消に向けて、事業主体である東京都とともに用地取得や設計業務などを推進してまいりました。また、高架橋柱やずい道(トンネル)、盛土区間を対象とした耐震補強工事などを鋭意進

めたほか、京王線多摩川橋梁の耐震補強を完了させるなど、安全対策の強化に取り組みました。

また、安全を全社員で支える改善活動に継続して取り組んでいます。2014年度からは新たに、ベテラン社員などが経験した過去の失敗事例についてオープンに話し合う講演会「京王失敗学会」を開催するなど、社員が安全について自ら考え学び続ける環境づくりを進めています。



年末年始社長巡視

「環境にやさしい電車」を目指した取り組みを推進します

当社は、より少ないエネルギーで効率的に動くことができる「環境にやさしい電車」を目指した取り組みを推進しています。2014年度には回生電力貯蔵装置を堀之内変電所に導入したほか、車両照明のLED化を本格化するなど、さらなる運転用電力の削減を実施しました。また、駅舎補助電源装置を東府中駅に導入するなど、駅での省エネルギーも推進しています。そのほか、相模原市において太陽光発電事業を新たに開始するなど、鉄道事業以外でも環境にやさしい事業活動を行っています。

2015年度には、従来よりも省エネルギー性能の高い新型VVVFインバータの導入や、駅舎補助電源装置の新設、車両照明のLED化を進め、沿線での環境保全活動をより一層努めていきます。

「住んでもらえる、選んでもらえる沿線」づくりに取り組んでいます

京王グループでは、沿線が将来にわたり活力を維持し、多世代にとって暮らしやすく魅力的な街となるよう、「住んでもらえる、選んでもらえる沿線」づくりを進めています。

2014年度は、京王沿線のランドマークとなる「キラリナ京王吉祥寺」、「メルクマール京王笹塚」がオープンしました。また、本冊子の表紙である高尾山口駅では、高尾山の玄関口としてふさわしい、自然と調和し、和を感じる駅舎へとリニューアルし、旅客トイレのスペース拡張や、無料Wi-Fiサービス、観光案内所の設置など、国際的な観光地に相応しい駅づくりを行っています。

また、「京王ほっとネットワーク」では、2013年11月から開始した多摩ニュータウンエリアを中心とした「移動販

売」をはじめ、新たにセルフ健康チェックサービスを提供する「京王・ケアプロヘルスケアキャラバン」や「空き家巡回サービス」を実施することで、沿線にお住まいの方々の暮らしに役立つ生活サポートサービスを推進してまいります。

さらに2015年度には、地域高齢者ケアを目的として、在宅介護・看護サービスの拠点を併設した「サービス付き高齢者向け住宅」および「介護付有料老人ホーム」の開設に着手しています。また、幅広い年齢層に向けた沿線地域の多様で豊かな文化資産を活用し、京王沿線の大学や団体などとの連携による「文化」「教育」「子育て」に関する学びの機会を提供する「京王アカデミープログラム」を開始するなど、引き続き沿線の活性化、地域との共生を図ってまいります。

京王グループは、企業としての社会的責任を果たし、「沿線にお住いの皆様の生活に無くてはならない役割を果たしていきたい」という強い思いを持ち、沿線におけるライフスタイルを支援するサービスを提供し続けます。これからも愛され、期待される京王グループであるよう努力してまいりますので、皆様の一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



キラリナ京王吉祥寺開業

コーポレート・ガバナンス体制

京王グループ 理念

私たち京王グループは、
つながりあうすべての人に誠実であり、環境にやさしく、
「信頼のトップブランド」になることを目指します。
そして、幸せな暮らしの実現に向かって
生活に溶け込むサービスの充実に日々チャレンジします。

京王グループでは、生活関連サービス事業者として運輸業、流通業、不動産業、レジャー・サービス業などの事業を展開しています。グループ経営を強化していくにあたり、京王グループの存在意義を明文化し、価値観を共有するため、2003年1月に「京王グループ理念」を制定しました。

この「京王グループ理念」のもと、グループ一丸となって総合力を高め、グループとしての企業価値向上に努めています。

京王グループ スローガン

あなたと あたらしい あしたへ——京王グループ

グループ理念をさらに浸透させていくため、京王グループではスローガンを定め、信頼される京王ブランドの確立に努めています。

沿線の方々をはじめとするお客様・株主・取引先といった、つながりあうすべての人とともに、さらに快適で幸せな暮らしの実現に向けて前進していきたい。その思いを胸に掲げて、「あたらしい あした」を力強く目指しています。

京王グループ 行動規範

「信頼のトップブランド」になるため、私たちは以下のとおり行動します。

企業活動を通じて社会に貢献します

- お客様の幸せな生活に資する商品・サービスを提供します
- 常に商品・サービスの品質、安全性の向上を追求します
- 適時適切な情報開示に努めるとともに、お客様の声を事業活動に活かします

法令・社内規程を遵守し、健全・公正な企業活動を行って、企業価値の向上に努めます

- 全てのステークホルダー(お客様・株主・取引先・社員などの関係者)に対して、相互に適正な利益を確保できるよう互いを尊重します
- 法令を正しく理解し、法令に則った手続きを行うことで、公的機関等と適切な関係を維持します
- 反社会的な組織、人物に対しては断固とした姿勢で臨みます
- 知的財産や情報の取扱いに細心の注意を払います
- 社員個人の権利を尊重し、社員同士が信頼しあえる風通しの良い職場づくりをします

社会の一員としての責任を果たします

- すべての人にやさしい環境づくりを進めます
- リサイクル、省エネなど環境保護に積極的に取り組みます
- 社会に貢献し、社会と共に発展するための活動に取り組みます
- 社会の変化に対応し、よき企業市民であるためのチャレンジをしつづけます

コーポレート・ガバナンスと内部統制

基本的な考え方

「京王グループ理念」に基づき、つながりあうすべてのステークホルダー*からの信頼を得て、持続的な成長と企業価値向上を実現するため、コーポレート・ガバナンスの充実、強化に取り組んでいます。

*ステークホルダーとは、お客様・株主様・取引先・社員などの関係者、つまり京王グループとつながりあうすべての方々のことです。

コーポレート・ガバナンス体制

取締役会は社外取締役2名および主要なグループ会社の社長等8名を含む18名で構成し、経営上の重要な事項についての決議や業務執行の監督を行うほか、特別取締役を選定し、時機を捉えた迅速な意思決定を行っています。

また、取締役会の諮問機関であるガバナンス委員会と指名・報酬委員会を設置しています。ガバナンス委員会においては「コーポレートガバナンス・コード」への対応など、当社グループの企業戦略等やガバナンス体制について審議を行うとともに、代表取締役、社外取締役および監査役の連携を強化し、グループの持続的な成長と中長期的な企業価値向上を図って

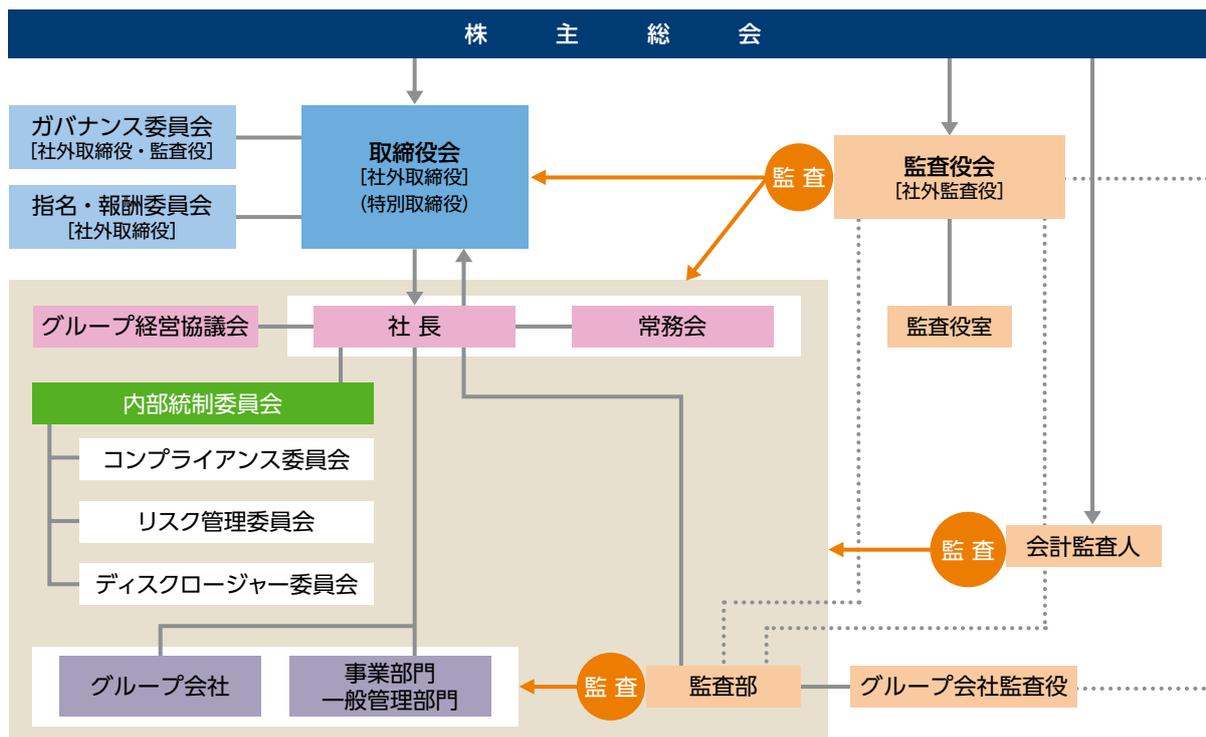
いきます。また指名・報酬委員会においては役員の人事・報酬について審議し、経営の透明性向上に努めています。さらに、グループ経営協議会、京王グループ社長会を定期的開催し、グループガバナンス強化にも積極的に取り組んでいます。監査役会は、社外監査役3名を含む4名で構成しています。監査役は監査役会で定めた基本方針に基づき取締役の職務執行の監査を実施するほか、重要な会議での意見陳述などを行います。

内部統制システムの強化

京王グループは「信頼のトップブランド」を確立するため、内部統制システムの強化に努めています。

当社は会社法に基づき「京王グループ内部統制システムに関する基本方針」を定めており、当社取締役会はその整備状況を確認・検証し、必要に応じた見直しを行っています。また、内部統制に関する組織や機能を統括するための内部統制委員会を設置しているほか、財務報告に関わる内部統制についても責任部署を設けて京王グループ全社で整備・運用を進めています。

●コーポレート・ガバナンス体制



コンプライアンス

基本的な考え方

京王グループにとっての「コンプライアンス」とは、「法令遵守にとどまらず、社会の規範やルールまで含めて遵守することで、社会の期待に応える」ことであると考えています。

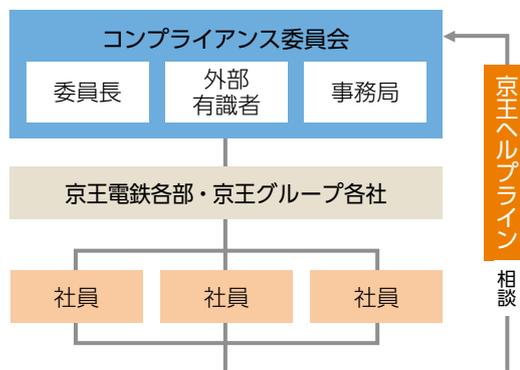
コンプライアンスに取り組むことにより、不祥事の起きにくい風土をつくり、誠実な企業としてお客様や社会から一層の信頼を獲得したいと考えています。

コンプライアンス体制

京王グループでは、「京王グループ行動規範」を定め、グループ全体に浸透させ、継続的に取り組んでいくため「コンプライアンス委員会」と「京王ヘルプライン」からなる「コンプライアンス体制」を構築しています。

「コンプライアンス委員会」は、委員長、外部の有識者、事務局で構成され、委員長には当社総務法務部分担役員が就き、その諮問機関としての外部有識者（弁護士・会計士など）を置いています。事務局は、当社の総務法務部と広報部が務めています。

●コンプライアンス体制



ヘルプラインの運営

業務に関するコンプライアンス上の疑問を抱いている社員が上司に相談できない場合、身近に相談できる窓口として「京王ヘルプライン」(社内窓口：当社総務法務部、社外窓口：弁護士事務所)を設けています。このヘルプラインは、グループ全社員はもとより、京王グループのお取引先企業で働く方も利用できます。このヘルプラインの運用により、京王グループのコンプライアンス上の問題の早期発見と解決につながっています。

2014年度の主な取り組み

●コンプライアンス意識の向上施策

「京王グループ行動規範」の浸透を通じた従業員のコンプライアンス意識の向上を図るため、職位や職種に応じて景品表示法や労働法などをテーマにしたコンプライアンス研修を実施しました。また、当社および京王グループ各社の実務担当者向けに、コンプライアンスに関わるテーマについての各種講習会を実施するとともに、コンプライアンス関連の情報発信を行うことにより、継続的な意識の啓発を図りました。

●京王ヘルプラインの周知

京王ヘルプラインの周知を図るため、連絡先や仕組みを明記した「ヘルプラインカード」の配布や研修における周知活動を継続しました。



ヘルプラインカード

●反社会的勢力への対応

グループ全社の従業員が、反社会的勢力によるリスクを理解し、適切な対応ができるようにするため、「反社会的勢力対応ハンドブック」を新たに作成し、各社に配布しました。また、グループ各社を対象に、暴力団追放運動推進都民センターが主催する「不当要求防止責任者講習」を実施しました。



京王グループ
反社会的勢力
対応ハンドブック

リスクマネジメント

基本的な考え方

鉄道事業を中心に企業活動を展開している京王グループでは、「お客様の安全」をリスク対策における最重要課題と認識しています。そのため各種リスクの低減および発生防止を目的とした体制を整備し、京王グループの理念である「信頼のトップブランド」にふさわしいリスクマネジメントを実践することが必要です。

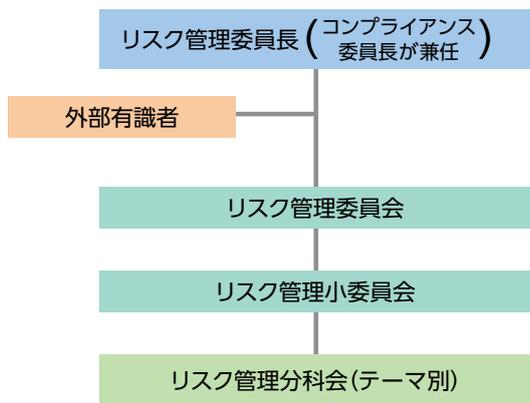
リスクマネジメント体制

京王グループのリスクマネジメント体制は、平常時の体制と危機発生時の体制の2つからなっています。平常時の体制は、リスク管理委員長のもとリスク管理委員会を定期的開催し、リスク対策重点項目の設定や、リスク対策の実施状況の確認、リスクマネジメントに関する活動報告などを行って

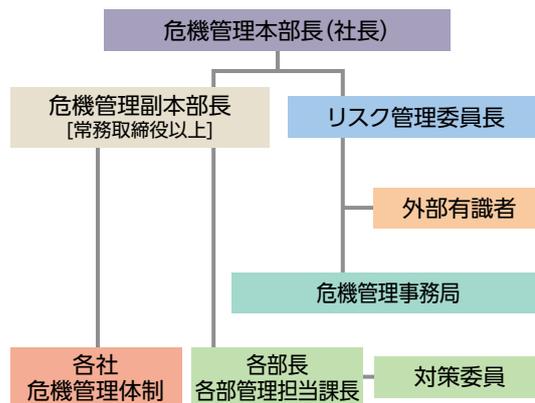
います。

リスク管理委員長は、コンプライアンス委員長が兼任し、コンプライアンスと表裏一体のものとして運営するとともに、リスクマネジメント活動について、コンプライアンスの視点からもチェックしながら推進する仕組みをとっています。このほか、「リスク管理小委員会」、「リスク管理分科会」などの組織を持ち、平常時のリスク対策を実効的に行えるようにしています。危機発生時の体制は、速やかな対応を第一とし、当社の社長を本部長とする臨時組織「危機管理本部」設置とともに、常務取締役以上の役員1名を危機管理副本部長とし、リスク管理委員長と危機管理事務局が活動をサポートします。また、京王グループ各社で発生した危機のうち、重大なものについてはグループ各社の危機管理体制と当社内に設置する危機管理本部が一体となって対応します。

●リスクマネジメント体制(平常時)



●リスクマネジメント体制(危機発生時)



2014年度の主な取り組み

●リスク対策重点項目への対応

前年度に各種リスクの影響度および発生頻度を分析の上、リスク対策重点項目に選定された「自然災害」「情報セキュリティ」などのリスクに対して、グループ各社において対応策を実施しました。また、地震・噴火を含む自然災害対策として、大規模災害発生時における連絡体制および初動体制などを整備し、グループ全社での「事業計画(BCP)」策定に向けた取り組みを実施しました。

輸送の安全性向上に向けて、 運輸安全マネジメントを推進

メッセージ



常務取締役
鉄道事業本部長(安全統括管理者)
高橋 泰三

当社では、京王グループ理念である『信頼のトップブランド』の確立を目指し「住んでもらえる、選んでもらえる沿線づくり」を進めております。特に鉄道事業においては、皆様から信頼され、愛される鉄道になるため、『『安全』は最大の使命であり、最高のサービスである』ことを常に意識し、『全社員が一丸となり継続的改善に取り組み、安全最優先の鉄道を創る』ことを最大の命題として取り組んでいます。

ハード面では、調布駅付近の連続立体交差事業の完了に引き続き、笹塚駅～仙川駅間でも連続立体交差事業に着手いたしました。25カ所の踏切解消に向け、事業主体である東京都および地元区とともに事業を推進してまいります。また、引き続き高架橋、盛土など構造物の耐震補強を進めるとともに、落雷や豪雨など多発する自然災害に備え、ソフト・ハード両面から整備に取り組み、安全性の向上に努めております。

これからも、京王線、井の頭線が皆様の生活になくてはならないものであり続けるため、現状に安住することなく、安全性の向上を目指して日々努力してまいります。



鉄道事業本部長による駅ホームの監視業務巡視



鉄道事業本部長による工事現場巡視

安全方針・2014年度安全重点施策

安全に関する基本方針

- 「安全」は最大の使命であり、最高のサービスである。
- 全社員が一丸となり継続的改善に取り組み、安全最優先の鉄道を創る。

安全に係る社員の行動規範

- 全てにおいてお客さまの視点に立ち、安全確保を第一に行動する。
- 社員一人ひとりがルールを遵守し、判断に迷ったときは、自ら考え、最も安全と認められる行動をとる。
- 情報伝達は迅速かつ正確に行い、共有化を図る。
- 組織・職位を越えたコミュニケーションを構築し、全社員が連携して問題解決にあたる。

2014年度 安全重点施策

安全に関する基本方針を浸透させ、ソフトとハードの両面から、鉄道事業の根幹であり社会的使命である「輸送の安全」を確保することを目的に、毎年度の安全重点施策を策定し、実施しています。

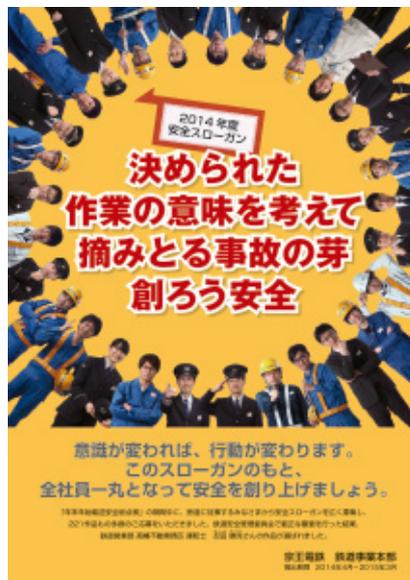
ソフト面	ハード面
<ul style="list-style-type: none"> ● 不安全行動による事故をなくすため、安全意識の浸透 ● コミュニケーションの深耕 ● 事故の再発防止策の徹底 ● 輸送障害の発生件数の削減や、発生時の影響の軽減 	<ul style="list-style-type: none"> ● 京王線(笹塚駅～仙川駅間)連続立体交差事業の推進 ● 調布駅付近連続立体交差事業の完了 ● 耐震補強の継続実施 ● 雷害対策、耐雷性向上工事の実施 ● 施設更新工事の継続実施

2014年度 安全スローガン

安全意識の一層の高揚を図るため、毎年、社内公募により安全スローガンを定めています。

**決められた 作業の意味を考えて
摘みとる事故の芽 創ろう安全**

鉄道営業部高幡不動乗務区 運転士(応募当時) 忍田 勝克

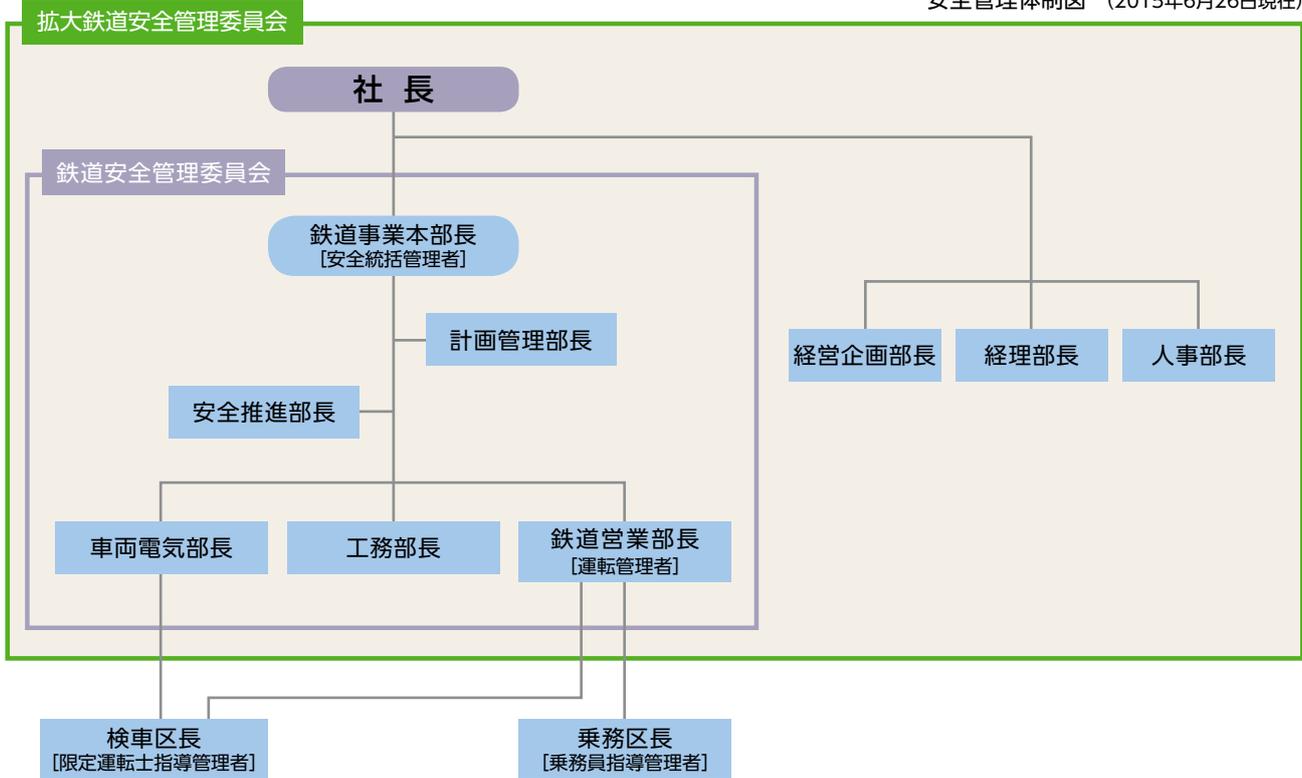


安全管理体制・安全管理方法

安全管理体制

当社では、安全管理体制を下の図のとおり構築しています。

安全管理体制図 (2015年6月26日現在)



責任者名と役割

責任者名	役割
社長	輸送の安全の確保に関する業務全般を総理する。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括し、鉄道事業本部長を充てる。
運転管理者	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括し、原則として鉄道営業部長を充てる。
乗務員指導管理者	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理し、乗務区長を充てる。
限定運転士指導管理者	車両電気部長および運転管理者の指揮の下、限定運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
計画管理部長	輸送の安全確保に必要な設備投資に関する事項、収支に関する事項および要員に関する事項を統括する。
安全推進部長	安全統括管理者の指揮の下、輸送の安全の確保に関する体制および事故防止に関する事項を統括する。
工務部長	安全統括管理者の指揮の下、土木施設に関する事項を統括する。
車両電気部長	安全統括管理者の指揮の下、電気施設に関する事項および車両に関する事項を統括する。
経営企画部長	会社全体の視点から輸送の安全確保に必要な投資に関する事項を統括する。
経理部長	会社全体の視点から輸送の安全確保に必要な収支に関する事項を統括する。
人事部長	会社全体の視点から輸送の安全確保に必要な要員に関する事項を統括する。

鉄道安全管理委員会

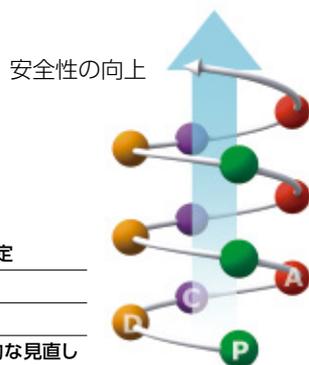
安全統括管理者を中心に、運転管理者を含む鉄道事業本部の各部長がメンバーとなり、原則として毎月1回定期的に、また必要により臨時に開催し、事故等の原因の究明・対策の検討・検証などを行っています。また、他社で発生した重要な事故・トラブルについて、当社の対応状況を確認しています。

さらに、拡大鉄道安全管理委員会を社長出席のもと年2回開催し、安全重点施策をはじめとした安全管理体制全般の実施状況の評価(マネジメント・レビュー)などを行っています。

「運輸安全マネジメント」PDCAサイクル

鉄道安全管理委員会を中心として、計画(Plan)→実施(Do)→評価(Check)→見直し・改善(Act)サイクルに沿って、継続して安全性の向上を図っています。

■継続的な見直しと改善



- P** = Plan : (計画)取組計画の策定
- D** = Do : (実施)施策の実施
- C** = Check : (評価)点検
- A** = Act : (見直し・改善)継続的な見直し

現業部署での目標管理制度

各現業職場が安全確保などの定量的目標を自ら立てて実践する目標管理制度を、2014年度から本格的に取り入れています。

事故の芽・トラブル情報・ヒヤリハットの報告

鉄道係員による取り扱い上の支障、機器関係の故障、自然災害などに起因する異常やそれらに対する措置の報告、また、事故が発生する恐れがあった事態、事故等や労働災害に関係するヒヤリハットを幅広く収集・分析し、対策を講じることで、安全性の向上に役立っています。

緊急時対応体制の整備

鉄道事故や自然災害の発生に備え、社内規程類を整備し、緊急時対応体制を構築しています。重大な事故や自然災害が発生すると、これに基づき対策本部を設置して、緊急・応急・復旧対策にあたります。

また、大規模な鉄道事故が発生した場合、被害に遭われた方々およびそのご家族などに対して、事故発生直後から中長期にわたって行う支援について、2015年3月、「被害者等支援計画」を策定しました。

内部監査の実施

内部監査員としての講習を修了した監査員による内部監査を毎年行い、安全管理体制が適正に機能していることを確認しています。社長、安全統括管理者ならびに安全管理体制の責任者を務める部長、課長および現業長に対してインタビューや書類検査などによる監査を行い、監査で見出された事項については、鉄道安全管理委員会に報告され、共有されています。

経営トップによる職場巡視

年4回の安全推進運動や、毎月の「安全再確認の日」を中心に、社長をはじめとする役員が現業職場を巡視して安全管理の状況を確認するとともに、現業係員との意見交換会を実施してコミュニケーションを図っています。



社長による
夜間作業巡視



社長と現業係員
との意見交換会

人材の育成

鉄道従事員への教育方針

「鉄道従事員として自ら知識・技能の習得に努め、安全・安心・快適な鉄道であるための使命を果たせる人材を育成する」という教育方針に基づいて、部署・職位別の教育訓練を行っています。

実務に即した訓練など専門分野に関するものや、鉄道事業部門共通の研修などを通じて、鉄道従事員としての資質の向上に努めています。

鉄道教習所における教育

鉄道教習所は、国土交通大臣指定の動力車操縦者の養成所として運転士に必要な知識・技能の教育を行っています。

主な設備

■ 運転シミュレータ

コンピュータ・グラフィックス映像による運転士訓練機能、車掌訓練機能があります。昼夜、降雨・降雪などさまざまな条件が設定でき、乗務員の教育や異常時対応訓練などを行っています。



シミュレータによる運転士訓練

■ 駅業務訓練室

駅で使用している自動券売機や自動改札機などを設置し、業務知識の習得や接客向上訓練を行っています。



自動改札機動作の習得教育

■ ホーム訓練室

実際のホームを再現し、列車非常停止ボタンや転落検知装置などの機器を使用して、異常時における迅速かつ的確な対応ができるよう訓練を行っています。



■ 駅係員信号扱訓練室

列車ダイヤが大きく乱れたときなどに実施する、信号操作の取り扱い（てこ操作）訓練を行っています。



乗務員の養成と技能の維持・向上

■ 運転士の養成

運転士になるためには、駅係員、車掌を経験した後、鉄道教習所で学科講習と技能講習を合わせて約9カ月間受け、試験に合格する必要があります。

入所から運転免許交付までの流れ

入所

学科講習 (4カ月間)

- 安全の基本
- 運転法規
- 鉄道車両
- 検査修繕
- 運転のしくみ
- 線路や信号・電気設備
- 運転シミュレータ

学科修了試験

技能講習 (5カ月間)

- 運転技術訓練
(指導操縦者とのマンツーマンによる)
- 線路・信号条件
- 車両点検
- 異常時の対応や応急処置等

技能修了試験

国土交通省関東運輸局から運転免許交付

人材の育成

■車掌の養成

車掌になるためには、駅係員を経験した後、鉄道教習所で学科講習と技能講習をあわせて2カ月半受け、試験に合格する必要があります。



シミュレータによる車掌訓練

■乗務員の技能の維持・向上

運転士・車掌になった後もフォロー教育や監督者による定期的な添乗指導などを受けるほか、各職場での勉強会や、個別の面談による指導を通じて、知識・技能の維持・向上を図っています。

■モーターマン・テクニカル・コンテスト

安全かつ快適に運転できる技能の高い運転士が参加し、その技能を競い合うモーターマン・テクニカル・コンテストを、2015年2月に実施しました。



入社・昇進時の研修

入社時だけでなく上位職への昇進時などには、安全を支えていく鉄道従事員としての意識付けを継続的に図っています。管理職への研修では、トラブル発生の際、その原因や背後要因を掘り下げられるように、2014年度から新たに「事故の聞き取り調査手法」の研修を行っています。



協力会社への教育

軌道・土木・建築、電気、車両などの保守管理や施設改良工事を委託する協力会社の社員に対して教育を実施しています。教育を通じて安全な作業手順を再確認するとともに、管理職による安全パトロールを実施するなど、事故防止に取り組んでいます。



京王電鉄



鉄道営業部高幡不動乗務区 乗務主任 角田 真之

列車の乗務員は、多くのお客様の命をお預かりする仕事であるため、安全・安心・快適、そして正確に列車を運行させることをモットーとしています。そのためにはさまざまなトラブルにも迅速に対応しなければなりません。日頃より知識・技能の向上に努め、どのような状況においても自信をもって対処できる人材であり続ける必要があります。どんなに技術が発達し、安全性が向上しても、最後の守り手は人であることを肝に銘じて乗務しています。

安全文化の構築

安全ポスター

毎年、安全ポスターにより安全意識を浸透させています。2014年度は「鉄道の歴史を変えた重大事故」をテーマに6回シリーズにより展開しました。



事故展示室

鉄道教習所にある事故展示室には、当社および他社の主な事故事例を年表形式にまとめた「鉄道事故年表」をはじめ、個別の事例について当時の写真や新聞記事、略図を用いて解説したパネルを展示しています。乗務員養成教育などでパネルを活用した事例研究を行っているほか、研修などで鉄道教習所を訪れた社員も自由に学ぶことができます。

2014年度には、展示してある年表と事例のパネルを社内LAN上で展開して「バーチャル事故展示室」を開設し、社内の各パソコンから学べるようになりました。



事故事例のパネル展示

安全講演会

安全意識の高揚を目的として、毎年開催しています。2015年2月には、株式会社JR東日本パーソネルサービス 佐藤 寿 氏を招き、「安全を創る～JR東日本の取り組みを例に～」をテーマにご講演いただきました。



京王失敗学会

当社ベテラン社員やOBが、過去に体験した事故やヒヤリハット、またそこから学んだ教訓を自ら語ることで、後輩社員に安全文化を伝承するとともに、失敗情報についてオープンに話し合う講演会「京王失敗学会」を2014年度から新たに開催しています。



安全活動発表会

毎年5月には、各職場で取り組んでいる改善活動のうち、特に安全に関するテーマを選定したチームによる活動内容の発表を行い、優秀な取り組みを審査により表彰しています。



TOPICS 安全を支える改善活動

「安全活動発表会」で表彰され、改善を図っている取り組み事例をご紹介します。

新型合図灯の開発

夜間や地下駅のホーム監視や乗降終了合図で駅係員が使用する合図灯を、電灯部分を大きく、また多方向から確認できるように改良し、乗務員からの視認性を向上させました。



従来型 改良型



従前



改良後

ホーム監視台の設置

ホームドアに収納することができるホーム監視台を新たに考案、設置しました。駅係員が監視する視線の高さを上げて、駆け込み乗車や扉挟まれなどに素早く対応できるようにしました。



京王線新宿駅



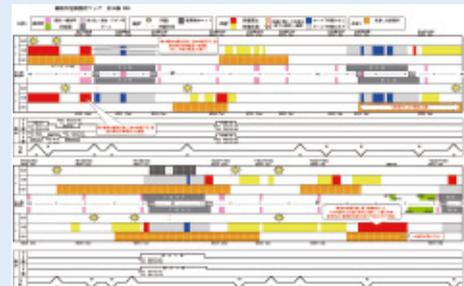
従前の視線の高さ



改良後の視線の高さ

線路内危険マップの作成

技術系職場の社員が線路内で作業を行う際に、曲線、勾配、構造物など特に注意すべき箇所や、待避する場所を一覧できるマップを作成しました。作業前などに確認することで、安全性が向上しました。



京王電鉄



鉄道営業部井の頭南管区 指導営業掛兼指導信号掛 須藤 進一

京王独自の合図灯を開発することにしたきっかけは、「合図灯の視認性向上」です。従来の合図灯では光量が少なく、合図灯とホームの蛍光灯の光が重なり確認しづかったため、LEDの光を拡散させるとともに、係員の身長差に対応するため光源を長くするなど、現場で働く者の声を取り入れてデメリットを改善しました。これにより、係員間の連携が一段とスムーズになり、今まで以上に安全性を向上させることができました。

危機に備えた訓練

大規模な訓練

鉄道運転事故や自然災害の発生に備え、毎年度、多様な訓練を通じて、事故・災害への対処能力を高めています。

■総合事故復旧訓練

脱線などさまざまな鉄道事故を想定し、通報・連絡・お客様の避難誘導・現場の復旧などの訓練を毎年総合的に実施しています。2014年11月、若葉台車両基地において、多摩中央警察署と稲城消防署の協力をいただき、踏切に立ち往生した乗用車に列車が衝突し脱線したことを想定した訓練を実施しました。



乗用車からの救助訓練



警察、消防と協力してお客様を事故車両から避難誘導する社員



線路の復旧



お客様を代行バスへ誘導する社員
(ショッピングセンター勤務社員による応援)

■防災訓練

地震の発生を想定し、列車の緊急停止、また本社における対策本部の設置・運営などの訓練を定期的に行っています。2014年9月の防災週間期間中と、東日本大震災発生後4年を迎えた2015年3月11日に実施しました。

■関係機関と連携した訓練

消防訓練、テロ対策訓練や、大地震に備えた帰宅困難者対策訓練などを、警察署、消防署、区・市役所と連携し実施しています。



列車内の放火事件を想定した自衛消防訓練(飛田給駅・2015年3月)



帰宅困難者対策訓練(吉祥寺駅・2015年3月)

■帰宅困難者対策

大規模地震などの災害が発生した際、帰宅が困難になったお客様向けに飲料水や食料、防寒アルミシートの備蓄を全駅に行っています。また、自治体と協力して帰宅困難者対策訓練なども実施しています。

危機に備えた訓練

その他の訓練

年間を通じて、さまざまな条件を設定した訓練に取り組み、係員の異常時対応力の向上を図っています。

■地下線内の列車火災避難訓練

2014年7月、トンネル内で列車火災が発生した場合を想定し、車内に搭載した非常梯子などの設備を使用して避難誘導訓練を実施しました。



■雪害対応訓練

車両のパンタグラフに付着した冰雪を、絶縁棒を用いて払い落とす訓練を2015年1月に実施しました。



■作業用自動車のウインチ取扱訓練

踏切道で脱輪した車を、作業用自動車備え付けのウインチを使用して救出する訓練を2015年2月ほかに実施しました。



■電車線張替訓練

断線した電車線を張り替える訓練を2014年12月ほかに実施しました。



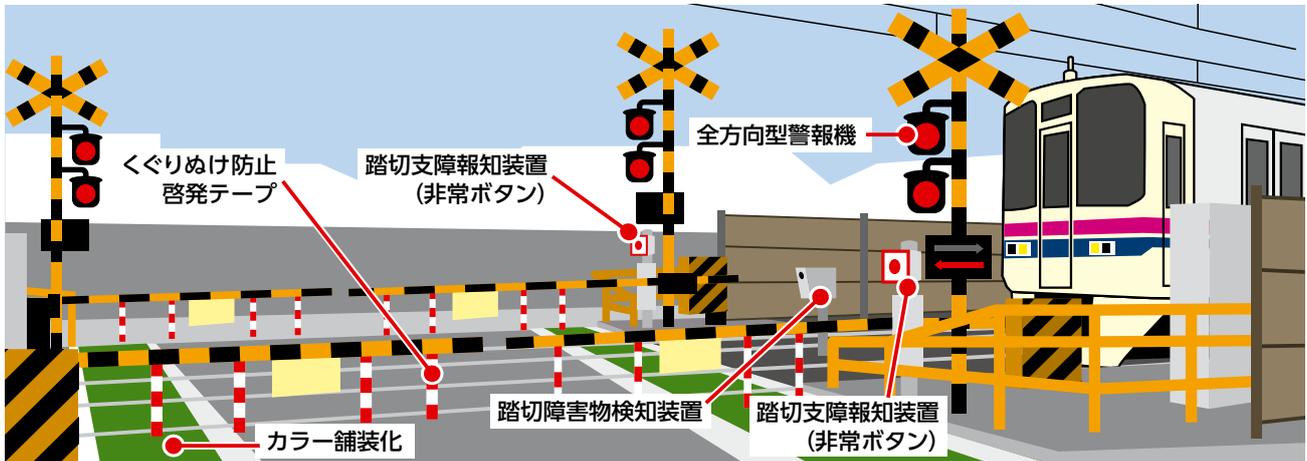
■脱線復旧機材の取扱習熟訓練

列車脱線事故からの復旧を円滑に行うための訓練を2014年10月ほかに実施しました。



踏切の安全対策

踏切での安全を確保するため、各種保安装置を設置しています。



■踏切支障報知装置(非常ボタン)

踏切での列車と自動車などの接触事故を未然に防止するため、すべての踏切に設置しています。踏切内で閉じ込められるなどの緊急事態が生じた場合、ボタンを押すと、運転士に異常を知らせるとともに、付近の列車をATC(自動列車制御装置)により自動的に停止させます。



踏切支障報知装置(非常ボタン)

■踏切障害物検知装置

踏切での列車と自動車などの接触事故を未然に防止するため、86カ所の踏切に設置しています。踏切内の障害物を検知すると、運転士に異常を知らせるとともに、付近の列車をATCにより自動的に停止させます。



(光軸式) 踏切障害物検知装置 (3次元レーザー式)

■踏切の歩道部のカラー塗装化

踏切内における歩行者の安全を確保するため、歩道のあらゆるすべての踏切で車道と歩道を明確に区別するカラー舗装化を行っています。

■くぐりぬけ防止啓発テープ

遮断中の踏切内への立ち入りを防ぐため、すべての踏切に設置しています。



踏切歩道部のカラー舗装化

くぐりぬけ防止啓発テープ

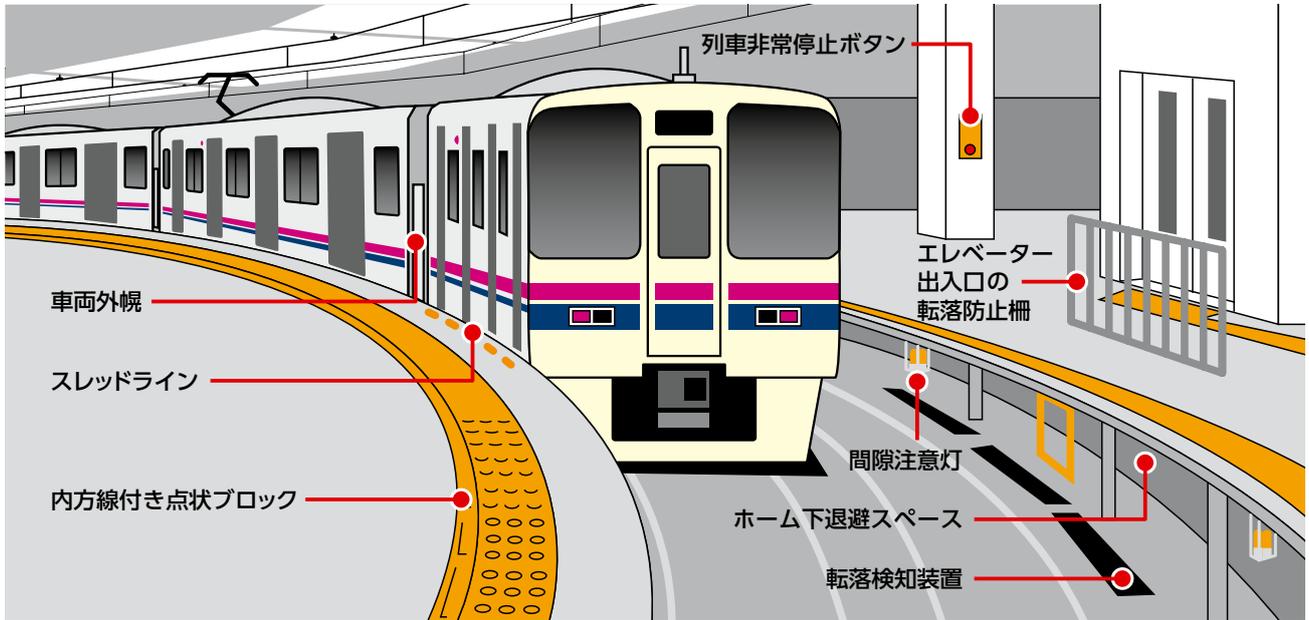
■全方向型警報機

どの角度からも点滅が確認できる全方向型警報機の導入を進めています。



施設・設備の取り組み

ホームの安全対策



■ホームドア

お客様のホームからの転落やホーム上での列車との接触事故を未然に防止するため、国領駅、布田駅、調布駅および新宿駅1・2・3番線にホームドアを設置しています。

2015年度末には、吉祥寺駅へ設置する予定です。



新宿駅1番線



布田駅

■エレベーター出入口の転落防止柵

エレベーター出入口が線路側を向いているホームの一部では、転落防止柵を設置しています。



■転落防止固定柵

ホームからの転落防止を目的として、新宿駅降車ホームに固定柵を設置しています。2015年6月には飛田給駅下りホームに設置、9月には渋谷駅ホーム終端部に設置しました。



新宿駅降車ホーム



飛田給駅下りホーム

■内方線付き点状ブロック

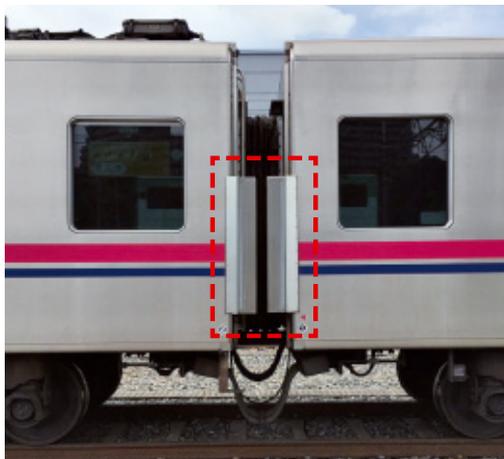
目の不自由なお客様のホームからの転落防止対策として、ホーム縁端部にある警告ブロックにホームの内側を示す内方線の整備を進め、2013年度に全駅で整備を完了しました。



施設・設備の取り組み

■車両外幌

ホームから車両連結部への転落事故を防ぐため、車両の連結部に外幌を設置しています。



■間隙注意灯・スレッドライン

曲線ホームなど、車両とホームとの隙間が広く空いてしまう箇所がある駅では、光の点滅で隙間をお知らせする間隙注意灯やスレッドラインを設置しています。



間隙注意灯



スレッドライン

■列車非常停止ボタン

万一、お客様がホームから転落された場合などに、このボタンを押すことで、接近する列車の乗務員や駅係員などに非常を知らせるとともに、付近の列車をATCにより自動的に停止させます。全駅のホームに約20m間隔で設置しています。



■転落検知装置

曲線ホームなど、車両とホームとの隙間が広く空いてしまう箇所がある駅に設置しています。万一、お客様がホームから転落された場合、この装置が転落を検知し、列車の乗務員や駅係員に知らせるとともに、付近の列車をATCにより自動的に停止させます。



■ホーム下退避スペース・ステップ

万一、お客様がホームから転落された場合の緊急避難場所として、ホーム下に退避スペースを整備しています。また、退避スペースのない箇所には、ホームに上がりやすくなるためのステップを設置しています。



ホーム下退避スペース

ホーム下ステップ

施設・設備の取り組み

ATC(自動列車制御装置)

従来のATS(自動列車停止装置)に比べてさらに安全性の高いATC(自動列車制御装置)を、2010年3月に相模原線で使用開始したのち、2011年10月からは京王線全線、2013年3月には井の頭線で使用開始し、現在、当社全線で使用しています。

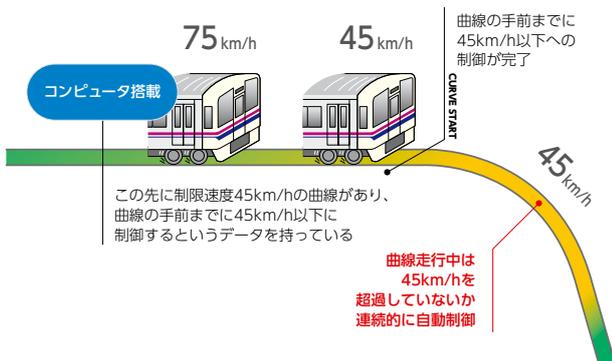
ATCで列車を制御できる主なケース



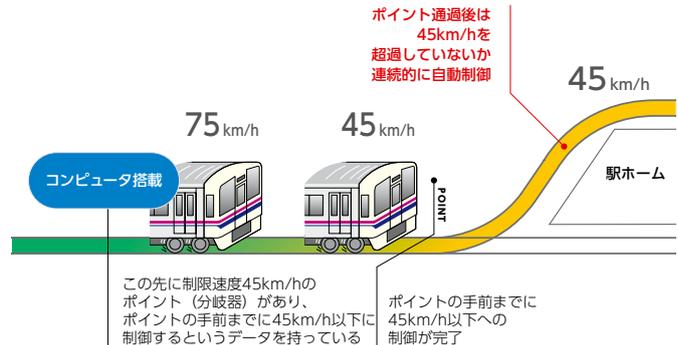
車両に搭載しているコンピュータが、レールに流れている信号電流を受け取ることにより、先行列車との間隔を連続的に把握し、常に適切な速度で走行できるように、列車を制御します。



■ 曲線通過の際には



■ ポイント(分岐器)通過の際には



鉄道総合指令センター

鉄道総合指令センターには、列車の運行などを管理する運輸指令所と、電力の供給を管理する電力指令所の機能が

集約され、平常時だけでなく、事故や災害発生時の対応を迅速に行えるよう、連携を強化する体制を整えています。

■ 運輸指令所

列車の運行を円滑に行うため、TTC(列車運行管理システム)により、列車の進路設定、出発指示合図などを自動制御しています。事故発生時などには、列車の位置や遅れなどを総合的に判断し、運行ダイヤの整理・復旧を図るとともに、駅のお客さま案内ディスプレイや車内案内表示器などにより、お客様に最新情報をご案内しています。



■ 電力指令所

列車運転用電力と駅設備や信号保安設備などに用いる付帯用電力を供給する、20カ所の変電所の運転状況や送電状況を、集中監視制御システムにより24時間体制で監視しています。

事故や停電が発生した場合は、直ちに予備の設備に切り替え、列車運転への影響を最小限にするなど、電力の安定供給に努めています。



車両の安全装置

■防護無線装置

列車の脱線や踏切内での自動車の立往生などにより、ほかの列車の運行に支障を来す恐れがある場合、乗務員室にあるボタンを乗務員が押し、無線による信号を発報する装置です。この信号を受報した列車の運転士は直ちに列車を停止させ、事故を未然に防ぎます。



防護無線装置

■車両の緊急停止装置

運転士の体調が急変した場合などに備えて、ハンドルから手が離れると自動的に非常ブレーキが作動する運転士異常時列車停止装置や、車掌が強制的に非常ブレーキをかける装置を車両に搭載しています。



運転士異常時列車停止装置

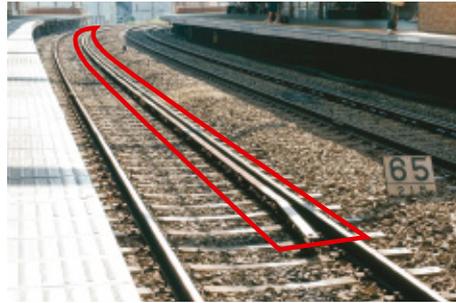


車掌非常スイッチ

脱線防止対策

■脱線防止ガード

半径300m以下の曲線や、ポイント（分岐器）、また踏切で障害物と衝突した際の脱線防止のため設置しています。



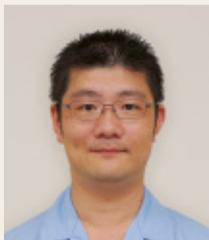
■輪重測定装置

脱線事故を未然に防ぐため、車両の輪重比（左右の車輪にかかる荷重のばらつき）が10%以内となるよう、輪重測定装置を導入し、「重要部検査」「全般検査」や車輪の交換の際に測定・調整しています。



京王電鉄

車両電気部通信管理所長 田井 豊典



安全な輸送サービスを安定して提供するには、設備の近代化などハード面を強化する取り組みが非常に有効です。また、設備の正しい運用や適切な保守の実施、安全意識の高い職場づくりなど、ソフト

面での地道な取り組みも欠かすことはできません。ハード面とソフト面をバランスよく強化することで、設備の安定稼働を実現し、お客様にご満足いただけるような信頼できる輸送サービスの提供に努めてまいります。

■脱線係数の測定

曲線を走行中に、車輪がレールを下方方向に押す力と横方向に押す力を測定することで脱線の危険性（脱線係数）を常時監視することが可能な「PQモニタリング台車」を京王線の1編成に導入しています。

■車輪フランジ角度

車輪にあるひっかけり部分（フランジ）とレールの水平面に対する角度は、国が推奨している70°を従来から採用しています。

■軌道の平面性

曲線部における軌道のねじれを測定し、国が定める平面性の基準値を満たすよう管理しています。

■レールの研削

レールの傷などをなくし、安定した列車の走行と騒音を軽減するため、レールを研削しています。

日々の保守管理

総合高速検測車

実際の列車と同じ速度で走行しながら、架線と軌道の状況を同時に検測することができる総合高速検測車を京王線に導入しています。検測で得られたデータを保守計画に反映し、安全性・乗り心地の向上を図ります。



総合高速検測車



検測車内での測定

軌道

京王線では日中に総合高速検測車を用い、軌道の高低、平面性、列車動揺などの測定を行っています。また、終電後にはマルチプルタイタンパーと呼ばれる作業車による道床のつき固めを行っています。井の頭線と合わせた全線で、目視や測定機器を用いた点検を行っているほか、終電後には、各種設備の交換やレールの高さの調整、レールの歪みの修正などを行っています。



道床の補修工事



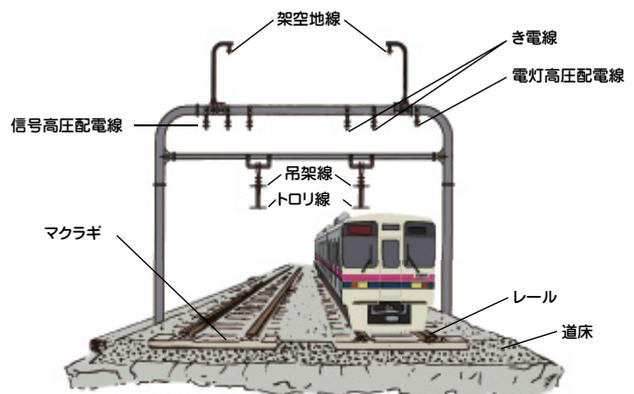
レールの交換工事



マルチプルタイタンパーによる道床のつき固め

架線

京王線では日中に総合高速検測車を用い、列車に電気を供給する架線の摩耗、偏位、高さなどの測定を行っています。井の頭線と合わせた全線で、目視により外観に異常がないか点検をしているほか、終電後には、測定器などを用いた点検や架線の高さの調整、各種設備の交換などを行っています。



構造物

高架橋・トンネル・橋梁・擁壁などの構造物に対しては、維持管理計画を定めて、定期的に目視検査や打音検査を実施するとともに、検査の結果に応じて必要により補修工事を実施しています。



トンネルの打音検査



高所作業車によるトンネル天井部分の点検



高所作業車による高架橋の点検

車両

列車を安全に運行するために定期検査を行っています。日常的な検査は検車区（京王線は若葉台・高幡不動、井の頭線は富士見ヶ丘）で実施し、大規模な検査と修理は若葉台工場で実施します。

■ 検車区

6日を超えない期間に行う「列車検査」、3カ月を超えない期間に行う「月検査」という定期的な検査と、臨時的検査や小規模な修理を行うほか、車両洗浄装置を使用して、外装の汚れを落としています。また、若葉台検車区では床下型車輪旋盤装置により車輪の削正を実施し、静かで乗り心地の良い車両を維持しています。



検車区での検査状況

■ 若葉台工場

4年または走行距離が60万kmを超えない期間に行う「重要部検査」と8年を超えない期間に行う「全般検査」のほか、車両の大規模なリニューアルを行っています。



若葉台工場



8000系車両のリニューアル

災害等への備え

構造物等の耐震補強

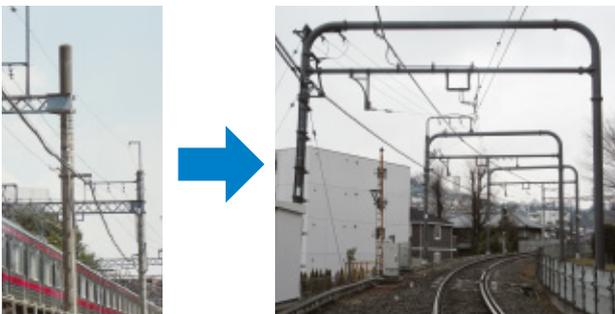
新たな耐震基準に見合う構造物とするため、橋梁、盛土区間や高架橋柱、ずい道(トンネル)を対象とした耐震補強を実施しています。また、架線柱をコンクリート柱から鋼管柱に更新しています。2014年度には、京王線多摩川橋梁の耐震補強を完了させました。



京王線多摩川橋梁の耐震補強



盛土区間の耐震補強



(更新前)
コンクリート柱

(更新後) 鋼管柱

地下駅火災対策

2003年韓国で発生した地下鉄火災を受けて改正された基準に則り、新宿駅における排煙設備および防火区画の設置工事や幡ヶ谷駅における新たな避難通路の設置工事などの地下駅火災対策を完了しています。



水の幕で防火区画を形成するウォータースクリーン(新宿駅)

気象情報システム

自然災害に早期に対応するため、沿線に地震計・風速計・雨量計・水位計を設置しています。それぞれの計器で観測されたデータは運輸指令所をはじめとする各鉄道現業事務所において、24時間体制で監視しています。



地震

沿線11カ所に地震計を設置しています。地震計が一定以上の震度を感知すると、列車無線を通じて全列車に警報を送るとともに、ATC(自動列車制御装置)により列車を停止させます。さらに、気象庁の「緊急地震速報」を活用し、震度4以上の地震発生が想定される場合、自動的に全列車に無線で警報を送り、乗務員が列車を安全な場所に停止させます。

災害等への備え

■強風

沿線17カ所に風速計を設置しています。瞬間風速が20m/s以上を観測した場合は速度規制を行い、25m/s以上を観測した場合は列車の運転を中止する措置を行います。

■大雨

沿線に設置した雨量計を、近年の局地的な豪雨に備えて4カ所増設し8カ所にしています。また、多摩川など3カ所に水位計を設置しています。加えて、気象情報会社から提供される解析雨量のデータも活用しています。観測された時間雨量、累積雨量に応じて、速度規制、運転中止の基準を定めています。

落雷対策

電線より一段高いところに避雷針の役割を果たす「架空地線」と呼ばれる防護線の計画箇所への設置が完了したほか、信号機器や電気転つ機などの耐雷性強化を図っています。



京王電鉄



工務部 土木課
課長補佐 濁澤 雅

首都直下地震など、近い将来に発生が危ぶまれる大規模地震の際に、被害を最小限に留め、お客様の安全確保と早期運行再開を実現するため、構造物の耐震性を向上させる取り組みを続けています。「『安全』は最大の使命であり、最高のサービスである」という信念の下、新人からベテランまで一人ひとりが「安全」を創る意識を持ち、さまざまな自然災害対策に継続的に取り組むことで、より災害に強い鉄道を目指しています。

大雪対策

2014年2月の東京都内での大雪の経験を踏まえて、速度規制、運転中止の基準を明確化するとともに、除雪作業の体制を強化しています。

車両のパンタグラフは、従来のひし形のものより着雪面の少ないシングルアーム・パンタグラフを採用しています。またポイント(分岐器)に電気融雪器を設置しているほか、車両基地などの架線には着雪・着氷を防ぐためにヒーターを内蔵した電線を使用しています。さらに、2015年秋から稼動する事業用車両(牽引車両)には、排雪板を装備しました。



高尾線の線路内を雪かきする様子(2014年2月)



シングルアーム・パンタグラフ

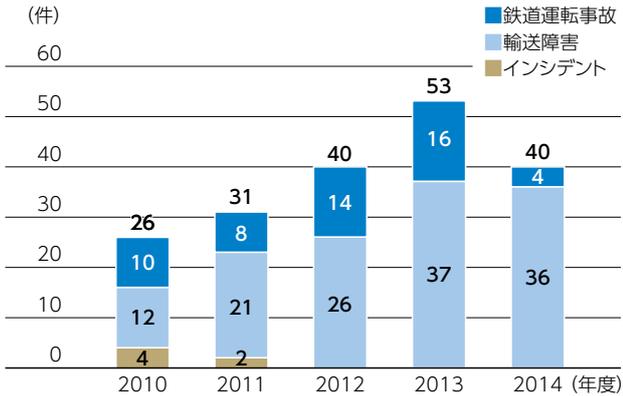
鉄道テロ対策

全駅のゴミ箱を撤去しているほか、防犯カメラの設置や係員・警備員の巡回により、不審者・不審物などの発見に向けた監視を行っています。また、車両基地などへの不審者の侵入を防ぐために、防犯センサーの設置や警備員による巡回を実施しています。

2014年度輸送安全実績

鉄道運転事故などの発生件数の推移 (2010年度～2014年度)

2014年度は、鉄道運転事故が4件(対前年12件減)、輸送障害が36件(対前年1件減)発生しました。インシデントは前年に引き続き発生しませんでした。



●鉄道運転事故とは

「列車衝突事故」「列車脱線事故」「列車火災事故」「踏切障害事故」「鉄道人身障害事故」「鉄道物損事故」をいいます。

●輸送障害とは

鉄道による輸送に障害を生じた事態で、鉄道運転事故以外の運休、また列車に30分以上の遅延が生じたものをいいます。

●インシデントとは

事故には至らなかったが、鉄道運転事故が発生するおそれがあると認められる事態をいいます。

鉄道運転事故

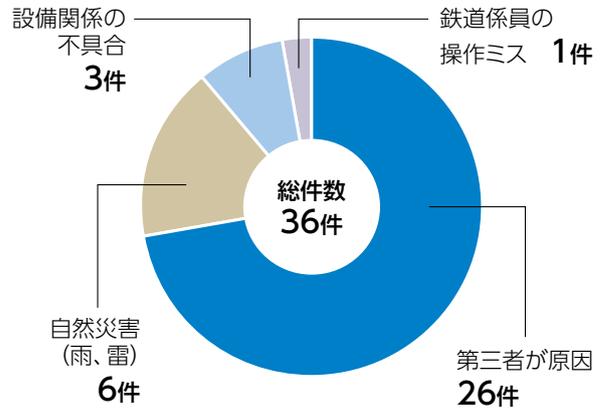
2014年度の4件は、いずれも鉄道人身傷害事故で、内容は、飲酒されたお客様が列車に接触したものが3件、なんらかの原因でふらついたお客様が列車に接触したものが1件です。



ホーム上での事故防止啓発ポスター

輸送障害

■2014年度輸送障害の内訳



■第三者が原因の輸送障害

第三者が原因の輸送障害は列車運行を妨害する行為(線路内への置石および物の放置、列車への投石など)などが該当します。これらを防止するためのさまざまな対策を実施しています。

列車運行を妨害する行為については防犯カメラや赤外線センサーの設置のほか、最寄駅の警察署とも連携して巡回を強化し、発生防止に努めています。

また、自殺行為については、「人身事故防止強化月間」を設定、駅係員、ガードマンが駅構内を巡回し、お客様にお声かけを行う活動を行っています。また、政府の「自殺対策強化月間」などにあわせてポスターを掲出するなどの対策を行っています。



内閣府自殺対策強化月間ポスター

中期3カ年経営計画 2015年度安全目標・安全重点施策

2015年度から新たにスタートした中期3カ年経営計画に、安全性を向上していく施策を掲げています。

2020年度にむけた中期3カ年経営計画(2015～2017年度)

- 京王線(笹塚駅～仙川駅間)連続立体交差事業
- 鉄道施設のさらなる耐震化
- 異常気象への対応
- 「安全に関する基本方針」の徹底
- 現場の声や他社の先進的な取り組みを幅広く収集

(鉄道の安全性向上への取り組みを抜粋)

2015年度 安全目標

社員一丸となり安全重点施策に取り組むことで達成していくことを目指します。

有責事故ゼロ と 輸送障害発生件数の前年比削減

2015年度 安全重点施策

ソフト面	ハード面
1. 事故や輸送障害の未然防止 (1) 安全に関する基本方針に則り行動する (2) 報告することで安全性を向上させる (3) 教訓を生かす 2. 自然災害対策と危機管理 (1) 異常気象に対処する (2) 事故や災害・危機に備える 3. 人材育成・活用 (1) 人材を育てる (2) 人材を確保する (3) 技術を継承する (4) 多様な人材を活用する	4. 中長期的大規模工事の推進 (1) 京王線(笹塚駅～仙川駅間)連続立体交差事業の推進 (2) 下北沢駅改良工事の推進 5. 減災対策 (1) 高架橋柱や橋梁、新宿ずい道、盛土区間を対象にした構造物の耐震補強工事の実施 (2) 大雨対策の実施 (3) 雷害対策の実施 (4) 雪害対策の実施 6. 安全対策・老朽化対策 (1) 吉祥寺駅へのホームドア整備 (2) 飛田給駅への転落防止固定柵設置 (3) 京王線8000系車両のリニューアル

2015年度 安全スローガン

確実な 作業を続ける その気持ち
つなげる安全 築こう信頼

鉄道営業部京王東管区 営業掛兼信号掛(応募当時) 今里 友輔



お客様との連携

鉄道運行情報の提供

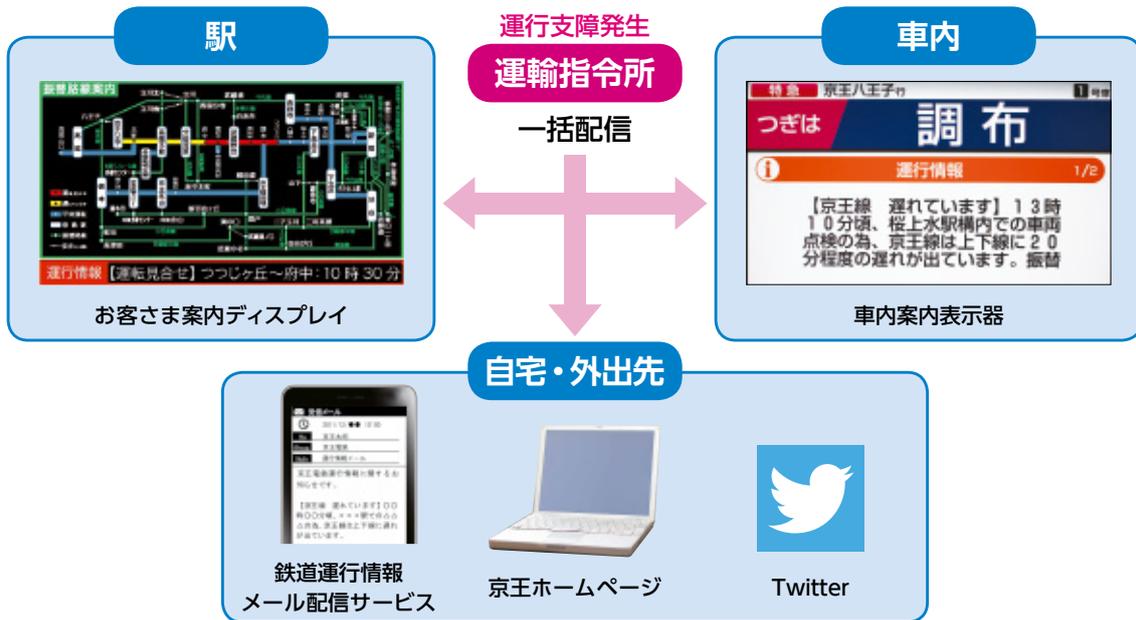
ダイヤ乱れなど、列車の運行に支障が生じた場合、文字情報・音声・路線図のいずれか、または組み合わせにより、お客様に分かりやすく鉄道運行情報をお届けしています。

文字情報については、ホームに設置の「行先案内板」、車内に設置の「案内表示器」のほか、ご登録いただいたお客様の携帯電話などへの「鉄道運行情報メール配信サービス」、

Twitterでの情報提供を行っています。

路線図については、文字情報とともに、改札付近に設置の大型液晶モニター「お客さま案内ディスプレイ」および京王ホームページにて提供しています。

また、ディスプレイなどに表示される文字情報は、音声に変換され全駅で放送しています。



■車掌からのご案内

異常時などに、お客様に必要な情報をよりスムーズにご案内できるよう、車掌が運輸指令所からの連絡やタブレット端末

末を活用してタイムリーな運行状況の把握に努めるとともに、放送コンテストの開催など、ご案内の技量を高める取り組みを行っています。



車掌が運行情報を把握するタブレット端末



車掌放送コンテスト(2014年11月)

お客様との連携

安全啓発活動

■お客様への呼びかけ

ホーム上や踏切での事故を防止するため、当社ではさまざまな方法により、また鉄道会社合同キャンペーン「プラットホーム事故0(ゼロ)運動」にも参加して、お客様に安全なご利用を呼びかけています。



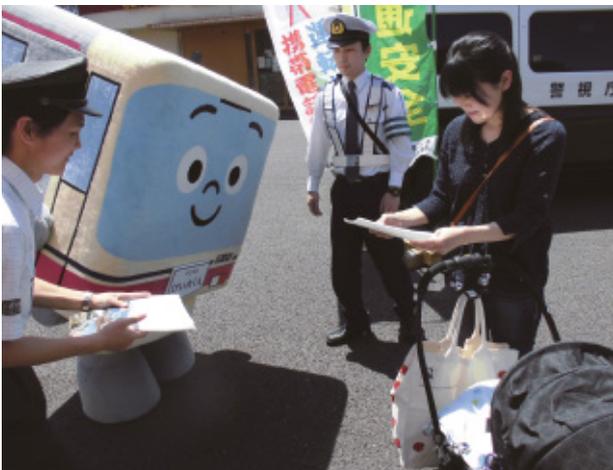
「プラットホーム事故0(ゼロ)運動」ポスター



お客様に非常ボタン操作をお願いするポスター

■全国交通安全運動での呼びかけ

警察署と協力して、安全な鉄道利用を呼びかけています。



交通安全運動での活動

■施設や学校への訪問

高齢者施設や学校などへの訪問により、安全な鉄道利用を呼びかけています。



高齢者施設での安全教室

■踏切非常ボタン・列車非常停止ボタン体験

お客様にボタンを押していただく体験を通じて、万一の際にはためらわず押していただくことをお願いしています。



列車非常停止ボタン操作体験



安全啓発のための配布チラシ

グループ会社の安全対策

運輸安全マネジメントに基づく安全対策

京王沿線を主な事業エリアとする京王電鉄バスグループ、多摩西部を中心に事業を展開する西東京バス、タクシー・ハイヤー事業を行う京王自動車、引越しなどの総合物流業務を行う京王運輸、御岳山でケーブルカーなどを営業する御岳登山鉄道の京王グループ運輸業各社では「運輸安全マネジメント」に取り組み、安全管理規程の制定、事故件数削減目標の設定、安全意識の向上などを行うとともに、安全関連情報をホームページで公表しています。

また、社長以下役員が営業所を巡回し、安全管理体制の確認や、営業所員・乗務員と安全に関する意見交換を行うなど、積極的なコミュニケーションを通じて、輸送の安全確保を図っています。



ドライブレコーダー



運転訓練車



アイマークレコーダーを装着した運転訓練

バス

■安全装置の導入

京王電鉄バスグループ・西東京バスでは、安全運転技術の維持・向上を目的として、全車両にドライブレコーダー^{*1}を導入しています。そのほか、左折時や進路変更時の事故防止を目的として左折チャイムを導入し、路線バスに車内確認用の補助ミラーを設置しています。また、京王電鉄バスグループでは関東の各民営バス会社に先駆けて「運転訓練車」を導入しています。「運転訓練車」には、アイマークレコーダー^{*2}や安全確認装置^{*3}などにより、運転の様子を映像と音声で記録するとともに、運転状況をチェックできる車内モニターが備えられています。

高速バス事業では、2013年から、衝突被害軽減ブレーキを搭載した高速バス車両を導入しています。衝突被害軽減ブレーキは、走行中に高精度ミリ波レーダーで前車との車間距離を監視し、車間距離が近づき、衝突の恐れがある場合に警報音で注意を促すとともに、衝突の可能性が高いと判断した場合にはブレーキを作動させ、万一の衝突事故の被害を低減します。

そのほかにも事故防止対策機器を積極的に導入し、京王電鉄バスグループ・西東京バスでは、車間距離警報装置を82両、



衝突被害軽減ブレーキ搭載車両

グループ会社の安全対策

またバスジャック対策として、走行中に運転を妨害されないようにするための囲い（ドライバーズガード）を50両に導入しています。

今後も、技術動向を見極め、事故防止対策機器の導入を積極的に実施していきます。

- ※1 **ドライブレコーダー**：車内外に設置されたカメラとマイク（集音装置）により映像・音声情報を記録・再生する装置です。
- ※2 **アイマークレコーダー**：乗務員が装着したカメラで目の動きを映像化して記録する装置です。
- ※3 **安全確認装置**：乗務員が安全確認を必要とする箇所を点灯などで示す装置です。

乗務員教育の実施

京王電鉄バスグループでは、運転技術訓練に加え、安全運転中央研修所で行われる「バス運転実技4日コース」に乗務員が参加し、通常では体験できない運転上の危険などを体験することで、安全運転に対する意識の向上を図っています。

西東京バスでは、毎年、全営業担当員（運転者）を対象とした「営業担当員定期研修」を開催しています。この研修は、社長懇談会、事故防止・接遇向上の座学研修、運転実技訓練の3部から構成され、社長懇談会では、社長が会社方針の説明を行うほか質疑応答を通じ、直接対話することで、現場の声を安全対策につなげています。



運転訓練車内のモニターで運転操作をチェック



運転実技訓練の様子

タクシー

京王自動車では、「運転の基本動作」の徹底に向けて、「無事故・無違反コンテスト」や、「小集団活動」の中で、乗務員同士がドライブレコーダーの「日常画像」を視聴しながら互いの「運転の基本動作」をチェックする活動などを行っています。



ドライブレコーダーのモニタリング画面

トラック

京王運輸では、2008年に公益社団法人全日本トラック協会が認定する「安全性優良事業所」の取得率100%（全6事業所）を達成しました（業界全体の取得率は25.3%）。



安全性優良事業所に交付される「Gマーク」が貼付されたトラック

「住んでももらえる、選んでももらえる沿線」づくりに取り組んでいます

メッセージ



代表取締役副社長
(総合企画本部長)

紅村 康

沿線地域が将来にわたり活力を維持し、成長し続けていくことが、京王グループの成長につながります。

京王グループでは、電車、バスをはじめとして、すべてのお客様にとって使いやすく分かりやすい施設やサービスを提供するとともに、魅力ある街づくりやコミュニティ支援を行い、沿線活性化を推進しています。また、幅広い世代の方々が生活しやすくなるよう、「京王子育てサポート」や「京王ほっとネットワーク」では、ライフステージごとのニーズに応じた生活サポートサービスを提供しています。さらに、「京王音楽祭」や「京王駅伝フェスティバル」など、文化・スポーツ・教育支援も積極的に行っています。

また社員については、多様な人材雇用やワーク・ライフ・バランスによる働きやすい職場づくりなどを積極的に推進しています。

今後も、お客様をはじめとしたステークホルダーの皆様の声に耳を傾け、沿線と共に成長し、「住んでももらえる、選んでももらえる沿線」づくりに、努力し続けてまいります。

京王グループとステークホルダーのつながり



京王グループ行動規範に基づき、ステークホルダーの皆様に対して以下のような取り組みを進めます。

- お客様の利便性、快適性向上
- 地域社会・行政との連携
- お客様との対話
- 多世代が生活しやすい沿線づくり
- 地域社会への貢献
- 株主・投資家の皆様との対話
- 人材の活用と働きやすい職場づくり

TOPICS 京王グループによる地域コミュニティとの関わり合い

■交通教室

当社、京王電鉄バスグループ、西東京バスでは、地域の小学校に伺い、交通教室を開催しています。安全な電車・バスの利用の仕方や利用マナーについて、社員が分かりやすく授業をしています。



授業の様子

■BUKATSUDO

「BUKATSUDO」は、リビタがこれまでに培ったコミュニティ醸成の企画力や運営ノウハウを生かして、事業主として企画・プロデュース・運営するシェアスペースで「2014年度グッドデザイン賞」を受賞しています。

オフィスワーカーや、居住者、来街者などの市民が肩書きをはずして集い、日常を豊かにする趣味の活動や、街を豊かに変える活動(=部活)が生まれ、動き出す場を目指し運営しています。

本事業は、横浜市の文化芸術創造都市施策の具体化に寄与する「公民連携」の取り組みです。

新しい時代の街のシェアスペースとして、地域の活性化はもちろん、全国の地方中心市街地の活性化施策として有効な取り組みとなることを目指しています。



BUKATSUDOで行われている活動例

■りえんと多摩平

2011年に築約50年の団地5棟をリノベーションした「たまむすびテラス」は、高齢者住宅、ファミリー向けの菜園付賃貸住宅と、リビタが企画・設計・運営するシェア型賃貸住宅「りえんと多摩平」で構成する多世代コミュニティです。

リビタは、UR都市機構の「ルネッサンス計画Ⅱ」に参画企業の一社として、UR団地を再生した地域連携・多世代多国籍型交流街区「りえんと多摩平」の創生に取り組んできました。

人々が集う新たな場所へと生まれ変わらせたことが評価され、「たまむすびテラス」は公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「2012年度グッドデザイン賞」を受賞しました。

また、この計画の土地有効活用や維持・運営面における成功事例として「都市みらい推進機構理事長賞」を受賞しました。



節分イベントの様子

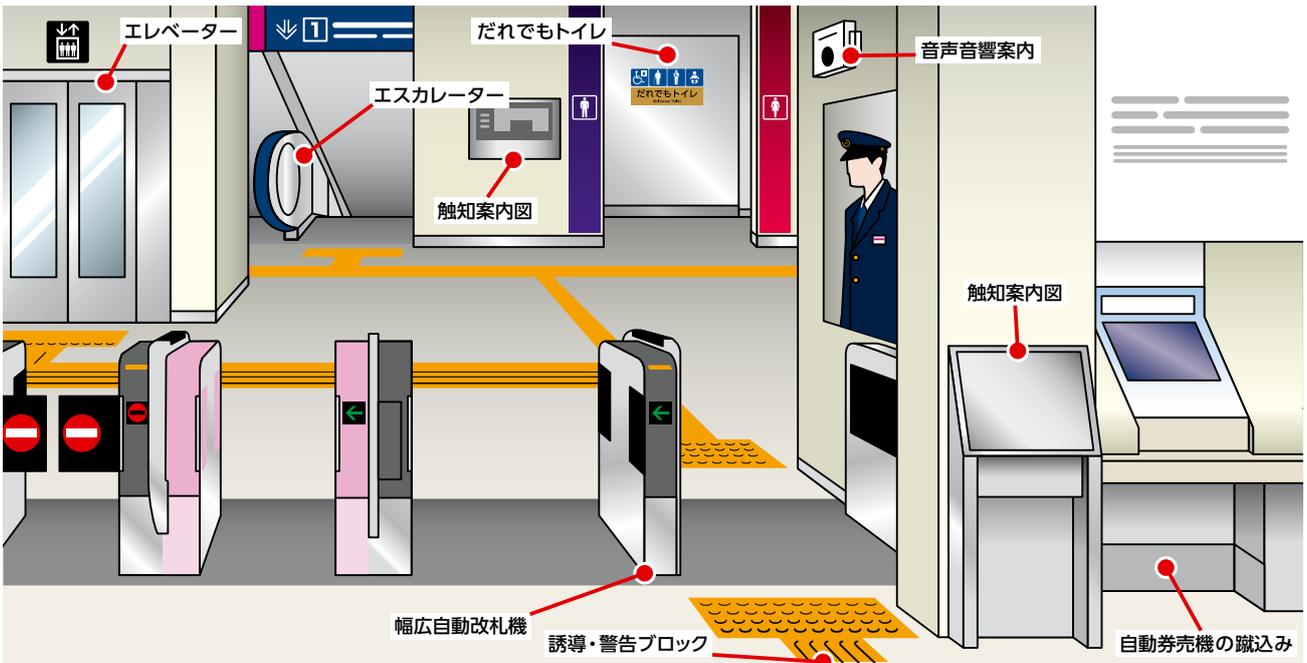


りえんと多摩平

お客様の利便性・快適性の向上

鉄道事業

駅設備の充実



■エレベーター・エスカレーター・スロープ

全駅の出入口から各ホームまで、階段などの段差がなく移動できるよう、エレベーター・スロープを設置しているほか、エスカレーターを設置しています。エレベーターは66駅に、エスカレーターは46駅に設置しています。

■お客様用トイレの環境改善

より快適で清潔感のあるトイレを目指して、改修を行っています。身体の不自由なお客様や小さなお子様連れのお客様にも安心してご利用いただけるよう、「だれでもトイレ」を67駅に設置しています。



改修したお客様用トイレ



だれでもトイレ

■幅広自動改札機

大きな荷物をお持ちのお客様や車いすをご利用のお客様などにご利用いただけるよう、通路幅を広くした自動改札機を68駅に設置しています。

■お客さま案内ディスプレイ

通常時は電車の発車案内などを表示するほか、事故や災害などで列車の運行に支障が発生したときには、支障区間や振替輸送経路などを、視覚的に分かりやすく表示する「お客さま案内ディスプレイ」を全駅の改札口付近に設置しています。



【通常時】

【異常時】

■行先案内板

列車の発車時刻や種別・行先・停車駅などを文字でお知らせする行先案内板を全駅に設置しています。



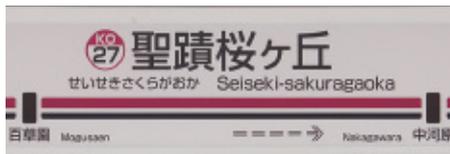
お客様の利便性・快適性の向上

■駅ナンバリング

沿線外からお越しのお客様にも当社線を分かりやすくご利用いただけるよう、アルファベットと色で路線を示し、番号で駅名を表示した駅ナンバリングをホーム駅名看板や路線図に導入しています。



ナンバリング表示
(井の頭線・渋谷駅)



ホーム駅名看板

■外国語による情報提供

外国人のお客様へのご案内の拡充を図るため、駅構内の案内看板や行先案内板、お客さま案内ディスプレイなどで2カ国語表記(日・英)または4カ国語表記(日・英・中・韓)によるご案内を行っています。



出口案内サイン



番線案内サイン



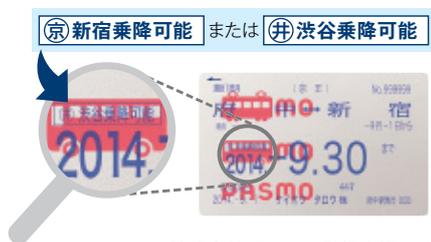
行先案内板



お客さま案内ディスプレイ

■PASMO通勤定期券「どっちーも」

2014年9月から、明大前駅以西の各駅から新宿駅または渋谷駅までの通常の定期運賃に1,000円(1カ月定期の場合)をプラスした金額で、新宿駅と渋谷駅のどちらでも乗り降りできる通勤定期券を発売しています。



※PASMOは株式会社パスモの登録商標です。

■サービススタッフ

電車のご利用に不慣れなお客様や海外からお越しのお客様にも安心してご利用いただけるよう、運賃や所要時間、乗り場や駅周辺の施設などの案内を専門に行う「サービススタッフ」を新宿駅、新線新宿駅、渋谷駅に配置しています。



■駅係員呼出インターホン

ホーム上で緊急事態が発生した場合やご案内が必要な場合などに、駅係員と通話ができるインターホンを全駅に設置しています。



■ホーム待合室

電車が到着するまでの間、快適にお待ちいただけるよう、冷暖房付きの待合室を地下駅などを除く各駅に設置しています。



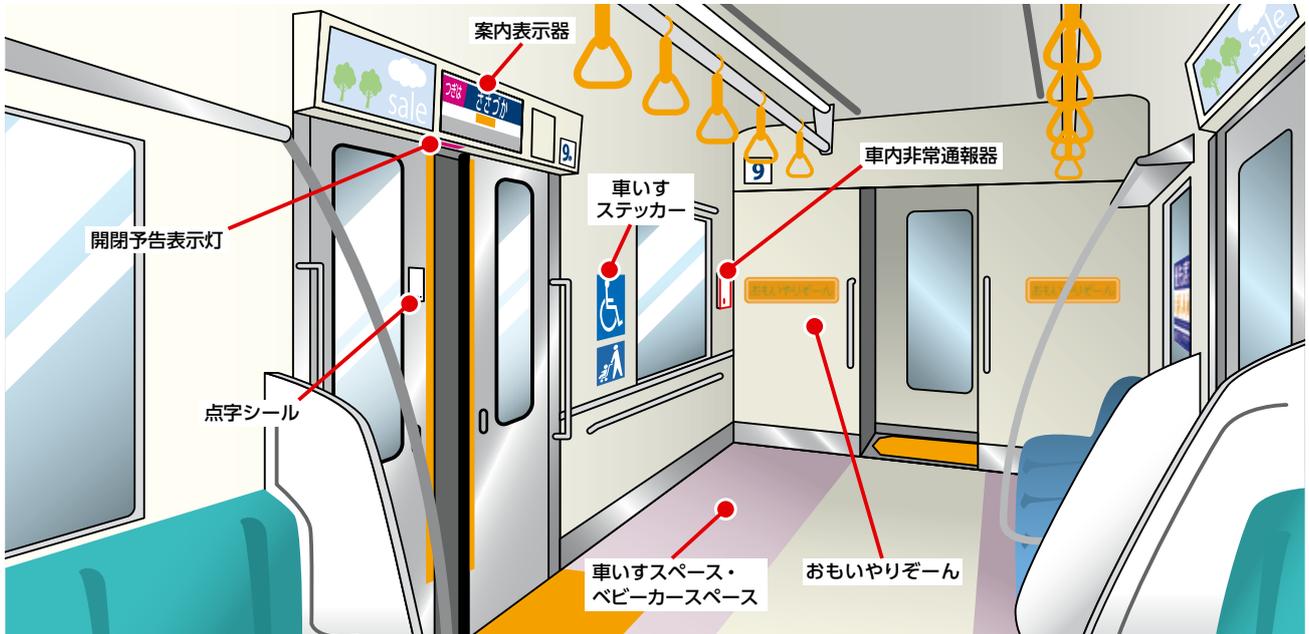
■触知案内図・点字による案内

凹凸・点字・ピクトグラム(案内用図記号)を用いた案内図を全駅に設置しています。また、自動券売機には点字および音声案内機能を備えているほか、点字運賃表を全駅に、点字手すりを必要な駅全てに設置しています。



お客様の利便性・快適性の向上

車内設備の充実



■おもいやりゾーン

車内の優先席を明確にするため、優先席付近のつり革や座席の色を変えた「おもいやりゾーン」を設置しています。「おもいやりゾーン」付近では、混雑時には携帯電話の電源をお切りいただくようご案内するなど、人に優しい車内環境の整備に努めています。



優先席案内ステッカー

■案内表示器・ドアチャイム

停車駅などを文字でお知らせする案内表示器（LEDまたは液晶画面）と、ドアの開閉を音でお知らせするドアチャイムを全車両に設置しています。



LED式の案内表示器



液晶画面を用いた案内表示器

■ユニバーサルデザイン

新造車両の導入や既存車両のリニューアルでは、ユニバーサルデザインの考え方を採り入れ、つり革や荷棚の高さを低くし、手すりやつり革は握りやすい形状にしています。さらに座席端部に仕切り板を設置するなど、車内環境の整備を進めています。



ユニバーサルデザインによる車内の一例

■車内非常通報器

電車内で緊急事態が発生した際に、ボタンを押すことで乗務員に通報できる車内非常通報器を全車両に設置しています。



お客様の利便性・快適性の向上

■外国語による情報提供

外国人のお客様へのご案内拡充を図るため、車内・車外の案内表示器において2カ国語(日・英)または4カ国語(日・英・中・韓)によるご案内を行っています。また、一部の車両には自動放送装置を導入し、2カ国語(日・英)による停車駅や乗り換えなどのご案内を実施しています。



車外案内表示器(LED)



車内案内表示器(液晶画面)

■車両ドアの明度差

車両ドアの位置を視覚的に認識しやすいように、ドア先端と足元に明度差をつけています。



■ニュース・オリジナル情報番組の放映

井の頭線の一部車両において、液晶画面を用いた案内表示器を2画面化し、ニュースやオリジナル情報番組を放映することで、車内空間の快適性の向上を目指しています。



■車いすスペース・ベビーカースペース

車いすスペース・ベビーカースペースを全編成に設置しています。



■女性専用車

2001年から平日23時以降に新宿駅を出発する急行系列車の最後部1両を女性専用車として運転を開始し、2005年から平日朝間・夕間の通勤時間帯にも拡大しました。

なお、女性専用車には女性のお客様のほか、小学生以下のお客様、身体の不自由なお客様とその介助者もご乗車いただけます。



女性専用車
案内ステッカー

■点字シール

目の不自由なお客様が、ご乗車になっている車両の号車・ドア位置が分かるよう、車両のドアに点字シールを貼付しています。



■駅・電車内での公衆無線LANサービス

ホームやコンコースで、各通信事業者の公衆無線LANサービス(Wi-Fi)がご利用いただけます。電車内でもご利用いただけるよう順次整備を進めており、井の頭線では全車両に整備が完了しました。

また、外国人のお客様向けの無料公衆無線LANサービス『KEIO FREE Wi-Fi』が京王線・井の頭線の5駅でご利用いただけます。

■トンネル内における通信環境の提供

新宿駅～笹塚駅間、調布駅付近、北野駅～京王八王子駅間のほか、新たに井の頭線の渋谷駅～駒場東大前駅間においても、トンネル内で携帯電話サービスがご利用できます。

お客様の利便性・快適性の向上

京王グループ

■バス

京王電鉄バスグループおよび西東京バスは、2012年から路線バス(高速・貸切を除く)の全車両がどなたにも乗り降りしやすいバリアフリー対応となっています。

車体が傾斜し床面が下がり乗降しやすくさせるニーリング機能のあるノンステップバス947両をはじめ、リフト付きバス33両、スロープ付きワンステップバス13両を導入しています。



ノンステップバス(ニーリングタイプ)

■バス車内での公衆無線LANサービス(Wi-Fi)

京王電鉄バスグループでは、路線バスの全車両で、公衆無線LANサービスをご利用いただけます。

また、西東京バスでも山間部を除く路線バス全車両で、公衆無線サービスをご利用いただけます。

※ 公衆無線LANサービスの提供会社はエリアによって異なります。

■京王プラザホテル

バリアフリーやエコロジーの取り組みを多くの方に知っていただき、それを社会貢献につなげることを目的に、2004年からチャリティイベント「ボランティア・プラザ」を開催しています。

2015年4月の第12回「ボランティア・プラザ」では、チャリティバザーや補助犬デモンストレーションに加え、バリアフリー・ウェディングの模擬挙式見学を含むユニバーサルツアーを行いました。「ボランティア・プラザ」の収益金は日本赤十字社などへ寄付しました。



バリアフリー・ウェディング(イメージ)

京王プラザホテル

宴会部
ウェディングプランナー
小林 香代子



障がいのあるお客様にも人生の大切な節目を不安なく寿いでいただきたいという想いで、今年ではバリアフリー・ウェディングのプランも企画しました。京王プラザホテルは、1988年のリハビリテーション世界会議に際し車いすでの利用が可能な客室を15室設置して以来、業界に先駆けてバリアフリーに努めております。今後もソフト・ハード両面でのユニバーサル対応に努めていきたいと思っております。

お客様の声

初めてのことだらけに加え、脊損車いす利用者がドレスを着られるのかと不安なことばかりでしたが、スタッフの方が私の要望を難しいながらも一概に否定せず可能な限り満たそうと動いてもらったのがうれしかったです。ドレス選びについては、着替え時間を多く確保してもらい、着てみたいもの、着られるものを多く試せ、またドレスのたけを車いすに絡まないよう調整してくれたり、背中にワンポイントを付けてくれたりと、車いすに乗っていてもドレスがきれいに見えるようにしてもらうことができ、満足のいくドレス選びができました。さらに、車いすが通れるようにチャペルのいすをずらしてパーজনロードの幅を広げてくれたりと、細やかな配慮をしてもらえ、不都合なく式を執り行うことが出来ました。



TOPICS

■マナー啓発ポスター

当社では、駅や電車内を快適にご利用いただくため、駅や電車を利用する際のマナーを呼びかける活動に努めています。

2014年度は、通常の啓発ポスターに加え、当社



線を普段からご利用いただいている立教女学院高等学校と共同で、より利用者目線に立ったポスターを制作しました。

立教女学院高等学校と共同で制作したポスター

地域社会・行政との連携

■コミュニティバス

東京都内では、地方自治体を中心となって、コミュニティバスを開設しています。京王電鉄バスグループと西東京バスは、利便性の高い街づくりに貢献するため、以下のバス路線を受託・運行しています。



コミュニティバスの運行受託状況

名称	行政	運行	開始年月
① 日野市ミニバス	日野市	京王電鉄バス	1986年8月
② 多摩市ミニバス	多摩市	京王バス南	1997年11月
③ 調布市ミニバス	調布市	京王バス東	2000年3月
④ るのバス	あきる野市	西東京バス	2000年10月
⑤ すぎ丸	杉並区	京王バス東	2000年11月
⑥ CoCoバス	小金井市	京王バス中央	2003年3月
⑦ ぶんバス	国分寺市	京王バス中央	2003年3月

名称	行政	運行	開始年月
⑧ はちバス	八王子市	西東京バス	2003年3月
⑨ ちゅうバス	府中市	京王バス中央	2003年12月
⑩ ハチバス	渋谷区	京王バス東	2004年9月
⑪ はむらん	羽村市	西東京バス	2005年5月
⑫ 新宿WEバス	新宿区	京王バス東	2009年9月
⑬ みたかシティバス	三鷹市	京王バス東	2012年3月

■PFI事業

PFIとは公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金やノウハウを活用することにより、公共サービスの提供を行う事業手法です。

東京都のPFI事業として多摩地域ユース・プラザ整備等事業を京王ユース・プラザが受託し、都立高校を改修、2005年に高尾の森わくわくビレッジを開館しました。その後2015年には、多摩地域ユース・プラザ運営等事業を受託し、引き続き施設の運営および維持管理業務を実施しています。



高尾の森わくわくビレッジ

京王グループのPFI事業一覧

物件名	開業年月	主な業務内容
高尾の森わくわくビレッジ	2005年4月	運営全般・施設維持管理など
杉並公会堂	2006年6月	施設維持管理・イベントなどの企画運営
ルミエール府中	2007年12月	施設維持管理・窓口運営補助
東京地方・家庭裁判所立川支部	2009年3月	施設維持管理
稲城市立iプラザ	2009年10月	施設維持管理

お客様との対話

積極的な広聴活動

■京王お客さまセンター

当社では「京王お客さまセンター」を設け、電話やメール、手紙などによりお客様からのご意見ご要望をいただいています。

2014年度はご指摘、お褒めの言葉などあわせて28,284件のご意見を頂戴し、うち24,565件は鉄道に関するものでした。いただいたご意見に対しては、速やかに回答しているほか、担当部署においてサービス向上や従業員教育に活用しています。

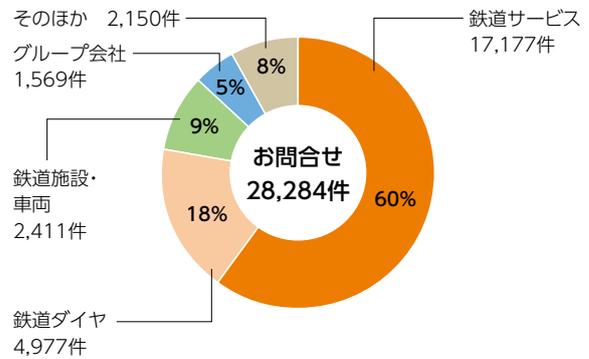
電話 042-357-6161

受付時間 9:00~19:00年中無休(年末年始を除く)

■車内温度に関するご意見・ご要望

京王お客さまセンターに寄せられるご意見・ご要望の中で多いものの一つに、列車内の温度に関するものがあります。ホームページからの専用投稿フォームをご用意し、ご乗車時の詳細な状況を伺うことで、適切な温度管理に活用しています。

■お客様の声(2014年度)



■お客様満足度調査

当社では、電車の運行・ダイヤや、係員・駅施設のサービスレベルなどについて、お客様満足度調査を定期的に行っています。京王お客さまセンターには寄せられない、潜在的なご意見を伺うことで、より便利なダイヤの設定、遅延時の運行情報の適切な提供やトイレの快適性向上など、問題点の把握と改善に努めています。

改善活動事例の紹介

当社では京王ニュース内で、「お客様の声」のコーナーを設け、お客様の声を反映した事例などの紹介を行っています。

お客様の声

「トラブルなどで電車が運転見合わせになった際、目的地へ行くまでの代わりのルートをもっとわかりやすくしてください」

改善しました

「お客様にお渡しできるよう、代わりのルートを記載したチラシをご用意しました」

列車運行が乱れた際に、お客様にはご迷惑をおかけして申し訳ございません。振替輸送の際には、お客様がルートを確認しやすいよう、チラシを改札口にご用意します。改札口付近の「お客さま案内ディスプレイ」、構内放送とあわせてご活用ください。

※詳細は、駅係員までお問い合わせください

(2015年5月号)



お客様の声

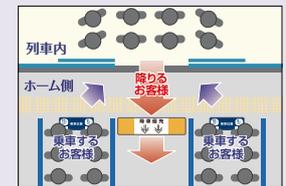
「京王線明大前駅ホームで乗車位置表示の真ん中に並んでいると、降りる人と交錯してトラブルになりそうです。表示を見直してはどうでしょうか」

改善しました

「ホーム床の乗車位置表示を扉の前から左右2列に分けることにより、降りるお客様と交錯しないように変更しました」

ホームの混雑でお客様にはご迷惑をおかけして申し訳ございません。少しでもお客様同士が交錯しないように、京王線明大前駅ホーム床の乗車位置表示を変更しました。これにより、乗り降りの時間短縮にもつながっています。

朝のラッシュ時間帯にホームが混雑する駅では、放送などで整列乗車・分散乗車のお願いをしています。また、乗り切れない場合は次の電車をお待ちいただくこともございます。お客様のご協力をお願いいたします。(2015年6月号)



お客様の声

高尾山口駅はトイレの個室が少ないため、行楽シーズンになると長い列ができます。トイレの数を増やすことはできないでしょうか。

改善しました

先日完成した高尾山口駅のリニューアル工事で、トイレの個室の数を増やしました。加えて、スペースの拡張や荷置台の設置を行い、デザインも木のぬくもりが感じられるものに刷新しています。

今後も、多くのお客様が楽しめるエリアとなるよう努めてまいりますので、ぜひ自然あふれる高尾山へお越しください。(2015年7月号)



ホームページや冊子における多言語案内

■ホームページ

京王ホームページでは、英語、中国語(簡体字)、中国語(繁体字)、韓国語、フランス語での情報案内をしています。電車のご案内をはじめ、IR・企業情報、沿線情報などを掲載しています。

■各種案内冊子

外国人のお客様に人気の高い高尾山へのお得な切符の案内・買い方を説明した冊子や、高尾山の登山コースの紹介などの楽しみ方を解説する冊子、また京王沿線の観光スポットを紹介する冊子などを制作・配布しています。



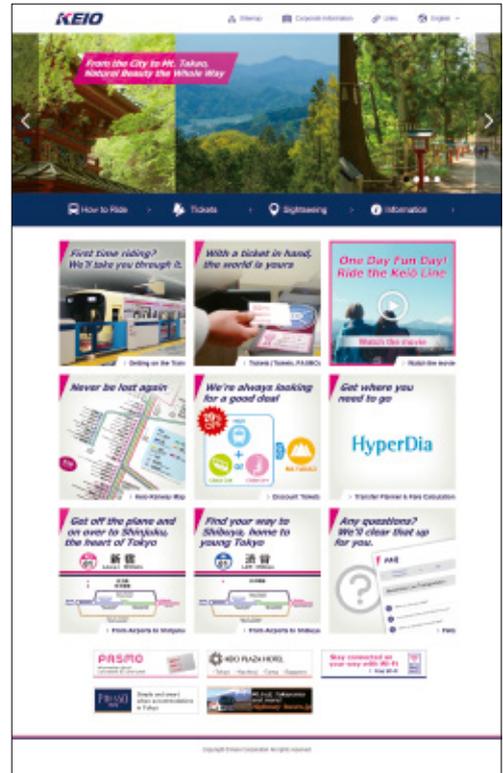
東京ガイドマップ(英語)



高尾山ガイドブック(中国語韓国語)



高尾山切符買い方冊子(英語)



英語版ホームページ

SNSを通じたコミュニケーション

■街はぴ

京王沿線各駅の周辺ショップ・イベントや、ライターがオススメするクチコミ情報などをお届けする沿線クチコミ情報サイト「街はぴ」は、地域の皆様が、相互にコミュニケーションを取りあえるサイトです。



■プラットガール(facebook)

イメージキャラクター「プラットガール」による沿線情報の発信をしています。



多世代が生活しやすい沿線づくり

■暮らしに役立つ生活サポートサービスを提供する“京王ほっとネットワーク”

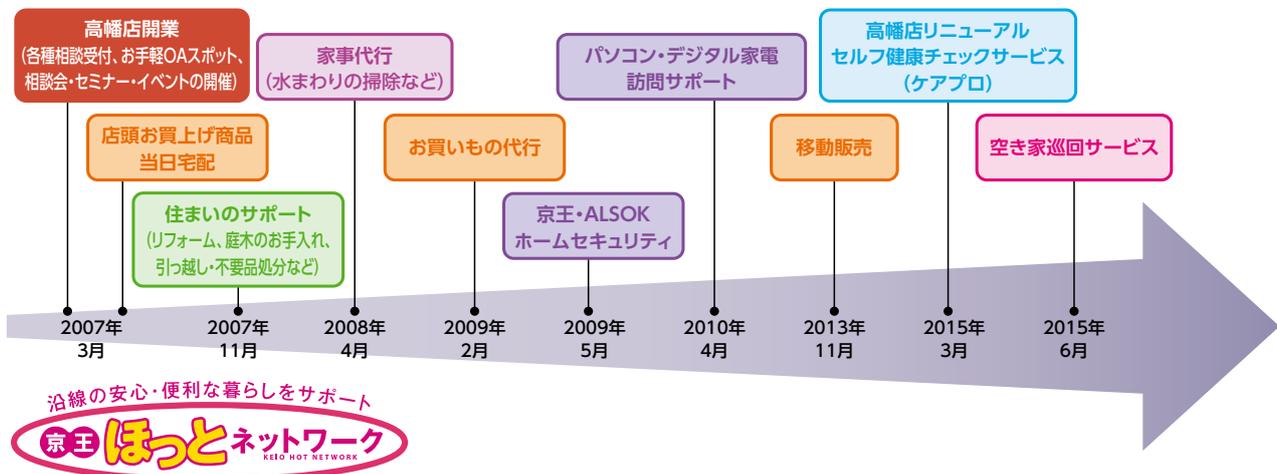
2007年からスタートした“京王ほっとネットワーク”は活気のある沿線を目指し、お客様のニーズにお応えするためにサービスメニューを拡大してきました。

2015年6月からは空き家巡回サービスを始めました。居住していない一戸建・マンションをお持ちのお客様に、物件を定期巡回し状況報告を行うほか、プランによっては換気などの維持管理サービスも行います。本サービスを通じて空き家により生じる問題を防止し、沿線住宅地の価値・魅力の維持につなげ、どの年代の方にも生活しやすい活気のある沿線となることを目指します。

顧客ニーズから「生活サポートサービス」を拡充

<p>住まいの“ほっと”サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ■リフォーム全般 リフォーム、外壁・屋根の塗装、床木の測定、引越し・不用品処分など ■定期メンテナンス 既存建物診断、シロアリ・害虫駆除、排水管洗浄 	<p>安心の“ほっと”サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ■京王・ALSOKホームセキュリティ 住まいやシニア向けセキュリティ ■パソコン・デジタル家電 訪問サポート 訪問によるパソコン・デジタル家電の診断・操作説明など 	<p>家事の“ほっと”サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ■家事代行 水まわりの掃除、外出時の付き添い、お話し相手、洗濯、衣替え、お庭のお手入れなど不在時の家事代行も承ります。 ■ハウスクリーニング エアコン・換気扇クリーニング、フローリングワックスの料金を含むなどの専門作業
<p>お買物の“ほっと”サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ■店頭お買上げ商品当日宅配 京王ストアなどでお買上げいただいた商品の宅配 ■お買ひもの代行 インターネット・FAX・電話注文によるお買ひもの代行 ■移動販売 京王ストアの商品を取りそろえて、ご自宅近くで巡回販売※一部地域のサービスです 	<p>セルフ健康チェックサービス</p> <p>00ほっとネットワーク × Care pro</p> <p>わずかな時間で手軽に500円(税抜)からご自身の健康をチェックしていただくことができます。</p>	<p>空き家巡回サービス</p> <p>居住していない一戸建てやマンションを、お客様に代わって定期巡回し換気・通水等を行うことで、建物の劣化防止や防犯・防災等の効果も期待できます。</p>

京王ほっとネットワークキャラクター “ほっとん”



■多摩市との「地域発展の推進に関する包括連携協定」

当社と多摩市は、2013年8月に「地域発展の推進に関する包括連携協定」を締結しました。

協定では、「幸せな暮らしの実現」「住んでもらえるまち・選んでもらえるまちの追求」「既成の枠組み及び概念に捉われない官民連携への挑戦」を基本理念に、移動販売をはじめとした、住民の生活に溶け込むサービスの充実および地域の価値創造に向けた取り組みを協力して推進することで、地域の持続的な発展に資することを目的としています。

多世代が生活しやすい沿線づくり

■乳幼児保育

京王沿線における子育て支援サービス全般の運営を行う京王子育てサポートは、東京都認証保育所・認可保育所「京王キッズプラッツ」を、永福町、千歳烏山、東府中、高幡不動、京王多摩川、京王よみうりランド、南大沢にて運営しています。また、世田谷区の子育て支援複合施設「子育てステーション烏山」においての一時預かり、親子ひろば、病後児保育の受託運営や、京王グループ社員のための事業所内保育所「サクラさーくる」の運営も行っています。

[京王キッズプラッツ]



保育所の様子

■学童保育

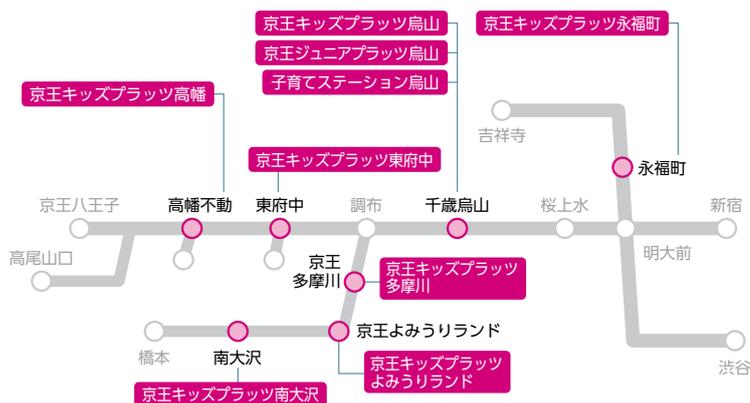
2011年7月、民間学童保育施設「京王ジュニアプラッツ」を千歳烏山に開設しました。「知育(学習)」「徳育(社会性)」「体育(健康増進)」にバランスのとれたプログラムで、小学生のお子様安心して有意義な放課後生活を提供し、健全な成長をサポートしています。指定小学校からのお迎えサービスや各種プログラムなど、サービスの充実を図っています。

[京王ジュニアプラッツ]



プログラム「おもしろ実験」の様子

■京王キッズプラッツ・京王ジュニアプラッツ施設一覧



子どもたちが楽しく元気に過ごせる場であることを表現したキャラクター「キッズ星人」

■アリストージュ経堂

2012年8月にシニアレジデンス事業として、世田谷区に介護付有料老人ホーム「アリストージュ経堂」を開設しました。

京王ウェルシステージが事業の運営主体となり、安心の医療と充実した介護、京王グループ各社が連携した生活サービスを提供することにより、充実したシニアライフをサポートします。



アリストージュ経堂

地域社会への貢献

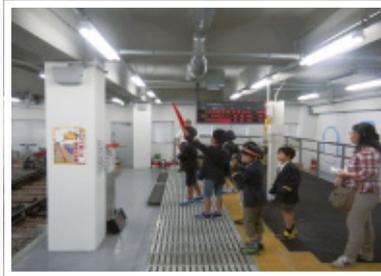
教育支援

■京王キッズおしごと隊



電車の仕組みを知ろう！(京王電鉄)

駅のおしごとを体験しよう！(京王電鉄)



京王バスのおしごとを体験しよう！(京王電鉄バスグループ)



本屋さんのおしごとを体験しよう！(京王書籍販売)

京王グループへの理解を深めていただくことを目的として、2009年から実施しています。2014年はグループ19社が参画し、各社の工夫を凝らした体験プログラムを通じて、さまざまな職種の仕事を楽しく学んでいただきました。ご参加いただいた方からは、「仕事の大変さや『安全』『サービス』の裏側を学ぶことで新しい発見・経験ができた」と好評でした。



オリジナルパンを作ろう！(京王食品)



百貨店でプレゼント包装をしよう！(京王百貨店)



ホテルのおしごとを体験しよう！(京王プラザホテル)



車両整備のおしごとを体験しよう！(京王重機整備)

そのほか ●電車の乗務員のおしごとを体験しよう！(京王電鉄) ●京王レールランドで乗務員のおしごとを体験しよう！(京王電鉄) ●西東京バスのおしごとを体験しよう！(西東京バス)
 ●タクシーのおしごとを体験しよう！(京王自動車) ●ケーブルカーのおしごとを体験しよう！(御岳登山鉄道) ●スーパーのおしごとを体験しよう！(京王ストア)
 ●お花屋さんになって花束を作ろう！(京王グリーンサービス) ●家づくりを学ぼう！(京王不動産) ●リノベーションで住まいづくりを体験しよう！(リビタ)
 ●カメラマンになってスタジオで撮影しよう！(京王エージェンシー) ●カレー屋さんのおしごとを体験しよう！(レストラン京王)
 ●ゴルフ練習場のおしごとを体験しよう！(京王レクリエーション) ●テニスの楽しさを体験しよう！(京王レクリエーション)
 ●最高級のコンサートホールでおしごとを体験しよう！(京王設備サービス) ●保育士さんになって一緒に遊ぼう！(京王子育てサポート)

「駅のおしごとを体験しよう！」参加者の声

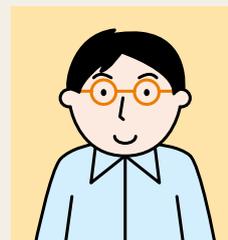
■お子様の声

運転士のおしごとや車掌のおしごとをして、運転するのは難しいんだな、と思った。車輪も置いてあって、とてもわくわくした。これから京王の電車に乗るのが、今まで以上に楽しみです。



■保護者様の声

子どもたち用のお仕事体験だったので、もっと軽い内容だと思っていましたが、とても本格的な体験をさせて下さったので驚きました。とても良い経験になり、本人も元から運転士を目指してはいましたが、さらに将来への希望が高まっていることと思います。貴重な体験でした。



地域社会への貢献

■高尾山峰中(ぶちゅう)修行体験合宿

豊かな自然に囲まれた高尾山で、子どもたちが座禅、法話、写経、水行など、高尾山薬王院の修行体験を通して、「新しい友達をつくる」「自然に触れて自然を大切に」「心に残る思い出をつくる」ことを目的としています。

1970年から2014年までに42回実施しています。



水行



法話

文化・スポーツ振興

■多摩未来奨学金

公益社団法人「学術・文化・産業ネットワーク多摩」が実施している「多摩未来奨学金」というプログラムに参加しており、寄付金の提供、企業と学生の勉強会開催などを通じ、地域の学生・将来の多摩を支える学生の支援を行っています。



授業風景

■京王音楽祭

毎回、趣向を凝らしたテーマで開催するチャリティコンサート「京王音楽祭」は1994年から開始し、2014年で21回を数えました。2014年の入場料の一部は、東日本大震災により被災した子どもたちのために、「東日本大震災みやぎこども育英募金」「いわての学び希望基金」「東日本大震災ふくしまこども寄附金」へ寄付しています。



京王音楽祭

■京王駅伝フェスティバル

2013年から、調布市にある味の素スタジアムで開催しています。駅伝だけでなく、ご家族やご来場の皆様にもお楽しみいただけるよう、沿線で人気のキャラクターによる運動会や、沿線の学生・団体によるパフォーマンス、鉄道イベントなどを行っています。

京王音楽祭と同様に参加費の一部をチャリティとして、東日本大震災により被災した子どもたちのために寄付しています。



駅伝の様子

■京王少年少女サッカーフェスティバル

2007年から、公益財団法人東京都サッカー協会が主催するサッカー大会の特別協賛を行っています。毎年、味の素スタジアムに2,000人近い小学生が集まり、天然芝でのプレーを楽しんでいます。



けい太くんによる始球式

株主・投資家の皆様との対話

■ディスクロージャー・ポリシーに基づいた

適時適切な情報開示

株主・投資家の皆様への情報開示を行うにあたっての基本的な考え方として、2006年4月に「ディスクロージャー・ポリシー」を制定し、本ポリシーに掲げる内容の実現を図るため、ディスクロージャー委員会を設置しました。ディスクロージャー委員会は、四半期ごとの業績開示にあわせて開催し、決算資料の内容確認を行っています。

情報開示の具体例としては四半期ごとの業績開示をはじめ、年2回の決算説明会の開催、インベスターズガイド「けいおう」などの発行を通じて、財務や株式、営業の概況に関する情報を積極的に開示しています。これらの開示資料やニュースリリースなどについては、ホームページ上でも公表するなど、個人投資家の皆様にも分かりやすい情報開示に努めています。

京王グループ・ディスクロージャー・ポリシー
www.keio.co.jp/company/stockholder/disclosure/

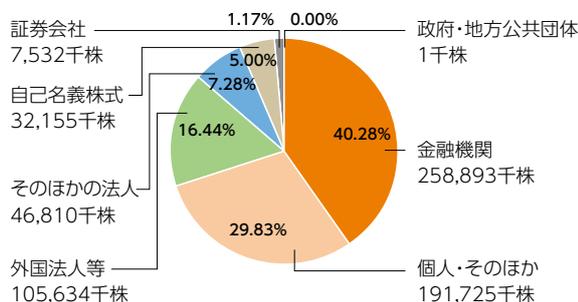
■株主の状況

当社の2015年3月31日現在の株主数は33,000名です。全体の約7割が、沿線の個人株主です。

株式の状況	発行可能株式総数	1,580,230,000株
	発行済株式総数	642,754,152株
	株主数	33,000名

■株式分布状況

(2015年3月31日現在)



■株主総会

2015年6月26日に京王プラザホテル八王子にて第94期定時株主総会を開催し、795人の株主様に出席いただきました。

当日は、2014年度の事業の経過や業績について分かりやすくお伝えするよう努めました。

■施設見学会

当社および京王グループへの理解を深めていただくため、施設見学会を開催しています。

●個人株主向け

2014年8月に、京王れーるランドや、京王プラザホテル(新宿)のパティシエのデザート盛り付けなどの見学会を開催しました。



パティシエによるデザート盛り付け

●証券アナリスト向け

実際の物件を見学することで事業内容の理解を深めていただくことを目的に、新たにオープンした「キラリナ京王吉祥寺」の見学会を開催しました。

■高速バス優待券の導入

当社株式の魅力をより高め、当社の電車を利用する機会の少ない方にも当社株式を保有していただけるよう、「株主優待乗車証」の代わりに「高速バス優待券」を選択できる制度を導入いたしました。

新しい株主優待制度は2015年3月31日現在の株主の皆様から実施しています。

■指定格付機関からの評価

当社では、鉄道事業における安全性の向上策や、沿線の活性化と競争力の強化に取り組みながらも、常に財務体質の健全性を意識しながら、30%を越える自己資本比率を維持しています。

このような着実な事業展開を行っていることが評価され、1998年に取得した株式会社日本格付研究所(JCR)によるAA(ダブルAフラット)の格付けを継続して得ています。

人材の活用と働きやすい職場づくり

多様な人材雇用

■公正な採用方針

京王グループは、公正採用選考人権啓発推進員制度(厚生労働省)、採用選考に関する企業の倫理憲章(日本経団連)に基づいた採用活動を行っています。

■人材・雇用に関するデータ(当社)

従業員数、平均年齢、平均勤続年数

	従業員数(人)	平均年齢(歳)	平均勤続年数(年)
2010年度	2,402	39.9	18.2
2011年度	2,386	40.0	18.2
2012年度	2,370	40.0	18.3
2013年度	2,385	40.2	18.2
2014年度	2,416	40.3	18.1

■女性の活躍

2015年3月末における、グループ会社への出向を含む当社女性社員は193名、管理職は25名となっています。

鉄道事業の現場から海外まで多種多様な事業領域にわたる幅広いフィールドでのジョブローテーションを経験する中で、自ら新たな道を切り拓ける人材が活躍しています。

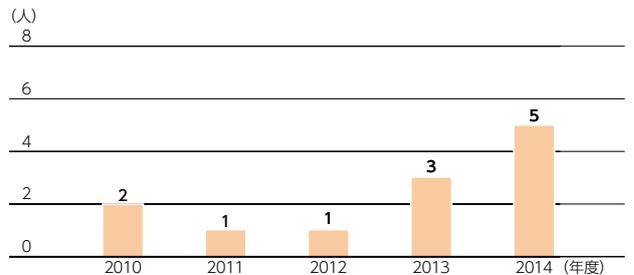
また、従来男性中心だった技術系職場においても女性が活躍しているほか、2014年6月からは北村敬子氏が社外監査役として選任され、就任しています。

なお、当社の取り組みの一部は、内閣府へ報告し『女性の活躍「見える化」サイト』にて対外的に公表しています。

グループ会社への出向を含む当社女性正社員(左軸棒グラフ)と女性管理職(右軸折れ線グラフ)の推移 (休職者を除く)



女性役員数の推移(京王グループ)



管理職における女性人数と比率(当社)

	管理職総数(人)	うち女性(人)	女性比率(%)
2010年度	284	13	4.6
2011年度	289	16	5.5
2012年度	297	15	5.1
2013年度	295	16	5.4
2014年度	300	12	4.0

京王電鉄

ホテル戦略部 ミミチョー

日本の大学で学ぶために来日して以来、京王沿線で生活しているため、京王電鉄は親しみがあり信頼が持てる企業でした。また、海外における新規事業立ち上げに興味があり、大学で学んだ経営学の知識を生かせると考え、京王電鉄に入社しました。現在の職場では、定期的にミャンマー語の勉強会が開かれるなど、積極的にコミュニケーションが出来る風土づくりをされているので、初のグローバル採用という不安は今はありません。今後はオリンピックに向けて沿線外からより多くの人を呼び込める新しいサービスや施設を考え、京王ユーザーをもっと増やしていけたらと思っています。



京王電鉄

鉄道営業部 相模原管区
副駅長 武田 阿沙美

駅における収支管理や増収施策、また労務管理など、駅長を補佐しながらこれらを総括しています。初めての女性現業管理職という重責ですが、とてもやりがいのある仕事であり、お客様が日々安心してご利用いただけるよう、使命感を持って臨んでいます。相模原管区では、外国からのお客様や、沿線にお出かけいただくファミリー層のお客様も増えています。私たち従業員がプロ意識を持って多様なニーズに即応し、きめ細やかなサービスを提供できるようにしていくとともに、一人でも多くのお客様に京王電鉄を選んでいただけるよう沿線の魅力を発信し続けたいと思っています。



人材の活用と働きやすい職場づくり

■障がい者雇用

2004年に特例子会社「京王シンシアスタッフ」を設立しました。2006年からは、関係会社特例認定を取得し、京王グループ全体の障がい者雇用も拡大しています。

2014年度では、当社および関係会社特例認定を取得した京王グループ9社を含めた障がい者雇用率は2.4%(163名)となり、社内施設の清掃業務、名刺作成、事務補助作業などに従事しています。

障がい者雇用と雇用割合

	雇用障がい者数(人)*	実雇用率(%)*
2010年度	106	2.3
2011年度	135	2.0
2012年度	137	2.1
2013年度	159	2.4
2014年度	163	2.4

*障害者雇用促進法に定める計算方法に基づく



名刺作成の様子

■地域限定雇用

西東京バスでは、東京都檜原村と共同で、檜原村居住者(移住者)限定でバス運転士の採用活動を2012年8月から実施しました。檜原村は島しょ部を除いた東京都で唯一の村で、秋川渓谷などの豊かな自然に恵まれています。この檜原村で暮らしながら働く、通勤圏にある同社事業所(五日市営業所:東京都あきる野市)のバス運転士(正社員)を募集し、地域と密着した、地域に貢献する雇用施策として推進しています。

また、奥多摩町でも同様の取り組みを行っています。

■高齢者再雇用

高齢者などの雇用の安定などに関する法律の2度の改正に対応して、当社は定年退職した社員を再雇用する「継続雇用制度」を2006年に創設し、2013年に再構築しました。2014年6月現在、継続雇用社員は191名となっています。

継続雇用者総数と再雇用割合

	継続雇用者総数(人)	再雇用割合(%)
2010年度	166	56.6
2011年度	180	55.1
2012年度	179	56.1
2013年度	180	60.0
2014年度	191	92.3

■働きやすい職場環境づくりに向けた調査の実施

当社では2011年から社員一人ひとりが主体的に働きやすい職場環境づくりをするために、紙およびWEBを使用した無記名式アンケートによる「従業員意識調査」を実施しています。

2013年に実施した調査では、対象2,815名のうち94.7%から回答があり、従業員の満足度は概ね良好な結果が得られました。調査結果は、社内報を通じて公表し、課題の共有を図っています。

ワーク・ライフ・バランス

■年休の取得率向上に向けて

働きやすい職場環境づくりのため、「両立支援セミナー」実施などに取り組んでいます。

また「計画的な年次有給休暇の取得推奨」「年次有給休暇の半日単位付与」などにより休暇の取得を推進しており、2014年度の年次有給休暇の取得率は79.4%となっています。

人材の活用と働きやすい職場づくり

■育児支援

子どもを養育し、引き続き勤務する意思のある社員が育児に専念するために、子どもが満1歳に達して以降最初の4月15日まで休職できる制度を設けています。また、育児をしながら勤務する社員に対して、超過勤務を命じないことや、就業時間の短縮などに関する措置（最長で小学4年まで）についても定めています。また、育児に専念したい社員が一旦退職した後、再び入社する機会を与えられる「再入社制度」も導入しています。

次世代育成支援対策についても今後推進を図り、仕事と家庭がより両立できる職場づくりに努めます。

京王グループ社員の育児を支援し、仕事と育児の両立を支援するため、2006年に事業所内保育所「サクラさーくる」を設置しました。京王グループ社員9名（2015年4月現在）が、この施設を利用しています。

育児休業取得者数・育児休業復帰率

	取得者数(人)	うち男性(人)	復帰率(%)
2010年度	14	1	83.3
2011年度	19	1	90.0
2012年度	25	0	90.9
2013年度	30	1	100.0
2014年度	33	1	91.7



事業所内保育所「サクラさーくる」

■社員の子どもによる職場見学会

社員の家族に職場への理解を深めてもらうため、夏休み期間中に「社員の子どもによる職場見学会」を開催しています。

2014年度は60名の子どもとその保護者が参加し、鉄道教習所や車両工場を見学しました。



職場見学会の様子

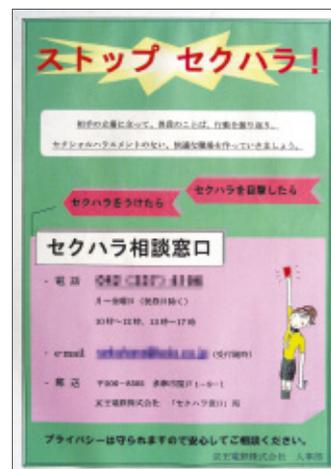
人権・労働安全衛生

■人権・労働に対する基本的な考え方

京王グループは、京王グループ行動規範に基づき、人権研修を実施するなど働きやすい職場づくりを目指しています。

■ハラスメント防止

京王グループ各社では、ハラスメント防止のために研修を実施するとともに、相談窓口も設置しています。



セクハラ防止ポスター

人材の活用と働きやすい職場づくり

■衛生講演会を開催

当社では、定期的に衛生講演会を開催し、診療所の産業医および医療スタッフが、健康に関する講演を行っています。

■労働安全衛生委員会

当社では、「安全・衛生のひろば」を定期的に開催しているほか、安全衛生活動の概況や安全衛生委員会の活動状況などについて議事録を作成し、周知しています。



安全・衛生のひろば

■メンタルヘルスケア

当社では1997年から社員のメンタルヘルス調査を実施しています。

社員本人へは自分のストレス状態を通知し、職場長には組織についての現状分析を報告しています。このほかにも臨床心理士による相談窓口の設置や産業医によるセミナーの開催など、自分自身による気づきと対処、職場における支援の啓発、保健師や精神科医も加えた事業場内の産業保健スタッフによる支援を進めてきました。また、メンタルヘルス調査会社の相談窓口によるケアもあわせて行っています。



医師による面談

今後について

当社では、生活関連サービスの拡充などにより、沿線の活性化を推進し、「住んでもらえる、選んでもらえる沿線」を目指しています。今後も、地域コミュニティのさらなる活性化を図っていきます。

また、沿線自治体、大学、企業などとの連携をさらに深め、文化や歴史、子育てなどに関する新しい教育プログラムを実施するなど、より沿線の皆様のニーズに応えたCSRイベントを実施・検討していきます。

■高齢者向け住宅事業の拡充

地域高齢者ケアによる沿線活性化を目的として、在宅介護・看護サービスの拠点を併設した「サービス付き高齢者向け住宅」および「介護付有料老人ホーム」を聖蹟桜ヶ丘で2016年に開設します。

これは、京王沿線の高齢化に伴い、駅周辺立地を生かした高齢者向け住宅事業を展開し、高齢者の不安・不便の解消とアクティブライフのサポートを行うことで、いつまでも生き生きと暮らしていける生活環境を実現する施策の一環です。



サービス付き高齢者向け住宅(イメージ)



介護付有料老人ホーム(イメージ)

■「京王アカデミープログラム」

京王アカデミープログラムでは、沿線で暮らす子どもから大人まで幅広い世代に向けて、「文化」(歴史・文学・音楽・美術・自然・科学など)・「教育」・「子育て」に関する学びの機会を沿線の大学・団体などと連携し、提案していきます。



●2015年度プログラム

- ・親子で楽しむ初めてのオペラ
- ・高尾の森親子森林体験スクール
- ・子育てサロン
～心と五感を育てる 親子の運動あそび～
- ・京王キッズおしごと隊
- ・高尾山峰中修行体験合宿
- ・自然！はっけん！エコキャンプ

など



親子で楽しむ初めてのオペラ



子育てサロン ～心と五感を育てる 親子の運動あそび～

■サポートタクシーサービスの充実

京王自動車では、2013年9月から妊産婦向けタクシーサービス「はぴママサポートタクシー」を運行開始するなど、生活を支援する輸送サービスを強化しています。

このサービスでは妊娠中のお出かけはもちろん、陣痛時やご入退院時の病院への送迎、乳児検診などのお子様との外出時など、継続的に安心してご利用いただけるサービスです。担当乗務員は全員、公益財団法人東京防災救急協会(東京消防庁所管)公認のマタニティーサポート講習を受講しています。

また、2015年7月からは、小学生を対象とした「はぴチルサポートタクシー」サービスを開始しました。民間学童を運営する京王子育てサポートによる「キッズサポート研修」を受講した乗務員が担当します。

誰もが利用しやすいユニバーサルデザイン(UD) タクシーの導入に加え、上記取り組みの実施を通じて、さまざまな方のニーズを満たすサービスの提供を目指します。



「はぴママサポートタクシー」リーフレット

■女性のための就業支援

当社は2015年9月に子育てする女性たちが安心して働けるワーキングスペース、「京王ママスクエア」を聖蹟桜ヶ丘に開設しました。(株)ママスクエアと協力し、働くお母さんの就業支援やキャリアアップにつながる環境を提供していきます。



「京王ママスクエア」イメージ

企業の社会的責任の一環として グループ環境経営を推進

メッセージ



常務取締役
(環境管理責任者)
丸山 荘

京王グループは、「京王グループ環境基本方針」「生物多様性行動指針」に基づき、環境にやさしい企業集団を目指しています。環境マネジメントシステムも運用を開始して11年目を迎え、設定した環境目標を全ての職場で達成するためのPDCAサイクルを着実に回しています。

中期環境目標の最終年度である2014年度は、鉄道部門における「運転用電力の削減」、開発部門における「CO₂排出量の削減」を共に達成することができました。

なお、2014年度はこれまでの取り組みが評価され、日本経済新聞社が毎年実施している「日経環境経営度調査」においては鉄道業界で2位と評価されたほか、国土交通省関東運輸局から「交通関係環境保全優良事業者表彰」を受賞いたしました。

当社は、大手私鉄の中で初めて走行時の電力消費を大幅に抑えるVVVFインバータ制御装置を全営業車両に導入するなど積極的な取り組みを行っています。今後も、本年開催される国連気候変動枠組条約第21回締約国会議(COP21)や東京都環境確保条例の第二計画期間(2015~2019年度の5カ年)の開始など社会的な変化も注視しながら継続的に環境施策を推進してまいります。

環境方針概念図

環境保全の推進

低炭素社会

- 電力の削減
- CO₂排出量削減
- 再生可能エネルギーの活用

循環型社会

- 資源の有効活用

自然共生社会

- 生物多様性の取り組み
- 沿線の緑化
- 環境教育プログラムの取り組み

環境マネジメント

推進体制 監査・教育 環境コミュニケーション 周辺環境への配慮
環境負荷の把握 環境会計

環境方針

基本的な考え方

当社では、2000年11月に環境基本方針を制定し、環境法令遵守をはじめ、各事業の特性に応じた省エネルギー化や廃棄物削減、資源リサイクル、環境教育の実施などを積極的に推進してきました。その後、環境保全是京王グループ共通の課題であるとの認識から、2004年12月に「京王グループ環境基本方針」を制定しました。グループ社員一人ひとりが環境方針の内容、なかでも自分の業務に関わりがある項目について十分理解し、仕事に生かしていけるよう、環境マネジメントシステム (EMS) の継続的運用を通じて浸透を図っています。

京王グループ環境基本方針

私たちは、「環境にやさしく」というグループ理念に基づき、環境問題を地球規模で考え、持続的発展が可能な社会の実現を目指して、環境保全に配慮した事業活動を行います。

1. 地球温暖化防止のため、エネルギーの効率利用に努めます。
2. 循環型社会実現のため、廃棄物の削減、リサイクルおよび適正処理を図るとともに汚染の予防に努めます。
3. 環境に関する法令、条例、協定などを遵守します。
4. 地域社会との調和を目指し、騒音、振動の抑制ならびに緑化活動の推進に努めます。
5. より良い環境の実現に向けて、地域や社会の環境保全活動に積極的に参加します。
6. 従業員一人ひとりの環境意識向上を図るため、啓蒙・教育活動を実施します。
7. これらの環境保全活動を推進するため、鉄道をはじめとするすべてのグループ会社の事業活動において環境マネジメントシステムを構築し、継続的改善に取り組みます。

2004年12月9日制定

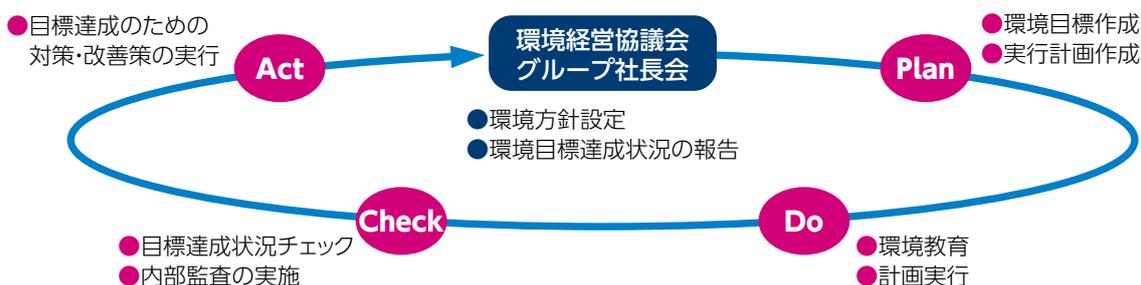
生物多様性行動指針

私たちは、生活に身近な事業を展開していくなかで、自然の恩恵を継続的に享受していることを認識し、持続可能な利用や自然と共生する社会の実現に向け、生物多様性に配慮した事業活動を行います。

1. 事業活動がおよぼす環境への影響把握
事業活動と生物多様性とのかわり(恵みと影響)を把握するように努め、取り組みの必要性に対する認識を高めます。
2. 自然環境の確保と保全
事業活動における自然環境への影響の回避または低減に取り組むとともに、緑化を推進し、地域の豊かな自然環境の確保と保全に努めます。
3. 資源循環の推進
資源の利用が生物多様性におよぼす影響を低減するために、グリーン購入など環境に配慮した調達や3R活動(リデュース・リユース・リサイクル)を推進し、環境負荷低減に努めます。
4. ステークホルダーと連携した生物多様性の保全
従業員をはじめ、取引先企業、お客様など多くのステークホルダーと連携し、情報の発信と収集を行いながら生物多様性の保全に努めます。

2010年9月8日制定

環境マネジメントにおけるPDCAサイクル



環境負荷低減に向けた 省エネルギー施策 ～運転用電力の削減～

当社グループの中核事業である鉄道事業では、一年を通じて多くの電力を消費することから、少ないエネルギーで効率的に動くことができる「環境にやさしい電車」を目指しています。

相模原線が全線開業した1990年と2014年度の原単位(1両が1km進む際に使用する電力量)を比較すると、約30%の削減となります。2014年度の走行キロで換算すると、年間約1億kWh程度の省エネ効果があり、一般家庭が一年間に消費する電力量約26,000世帯分に匹敵します。

こうした取り組みが評価され、2014年度には国土交通省関東運輸局長から「交通関係環境保全優良事業者表彰」を受賞しました。



一般家庭が1年間に消費する電力量

約**1億**kWh = 約**26千**世帯分

今までに取り組んできた運転用電力削減の取り組み効果!

DATA

1. VVVF インバータ制御装置^{*1} + 回生ブレーキ^{*2} の導入 (100%完了)

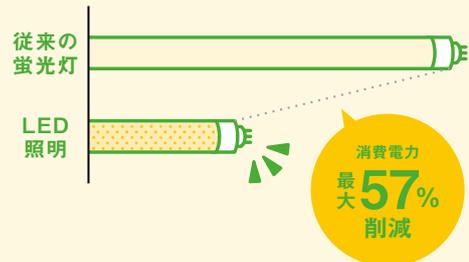
VVVFインバータ制御装置と回生ブレーキの導入により、導入前の車両(抵抗制御車)と比べ、消費電力を約45%削減しています。2012年度には、大手民鉄で初めて全営業車両への導入を完了しました。



DATA

2. 車内照明LED化 (現在導入中)

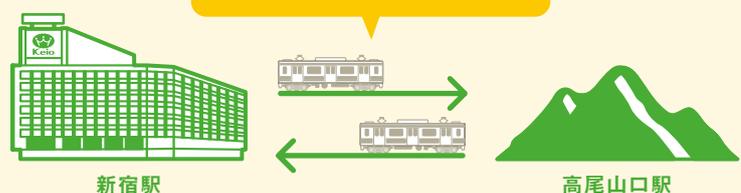
車内照明を蛍光灯からLED照明に更新することで、消費電力を最大57%削減しています。



DATA

3. 回生電力貯蔵装置 (2014年度堀之内変電所に導入)

電車がブレーキをかけた際に発生する回生電力を、変電所に設置した蓄電池に充電し、電車の運転用電力として供給する装置の導入により、年間約48万kWhの省エネ効果が見込まれます。この効果を、電車の走行距離に換算すると新宿駅と高尾山口駅間を約310往復できることとなります。

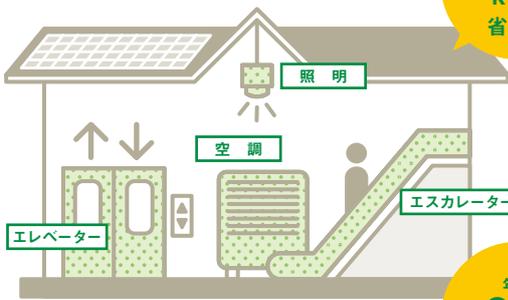


さらに、駅でも省エネしています！

駅舎補助電源装置

(2014年度東府中駅、2015年度高幡不動駅設置予定)

電車がブレーキをかけた際に発生する回生電力を、駅の様々な設備に供給しています。



年間
約24万
kWh
省エネ

年間
約9.3万
kWh
省エネ

太陽光発電 (設置箇所はP.63参照)

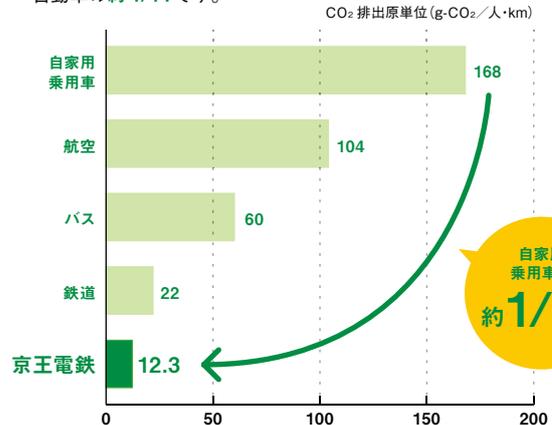
2014年度鉄道部門実績

環境にやさしい京王電鉄の電車

CO₂ 排出量比較

(1人1kmを1km運ぶ際のCO₂排出量の比較)

京王電鉄全車両の平均12.3g-CO₂/人・kmは、自動車の約1/14です。

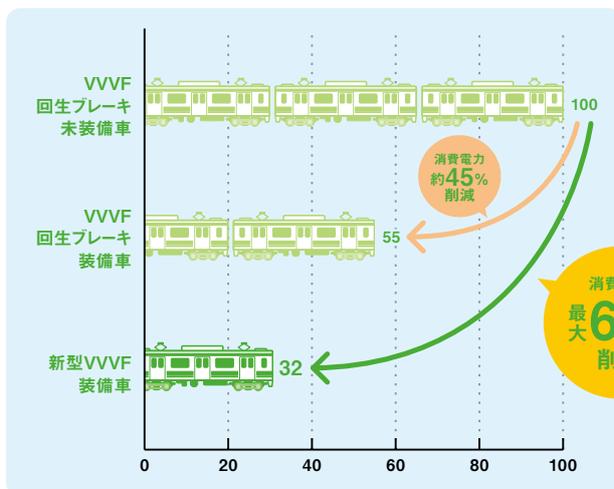


出典：国土交通省Webサイト運輸部門における二酸化炭素排出量(2012年度)

今後の主な取り組み

新型VVVFの導入

今までに導入したVVVFインバータ制御装置と比べ、さらにモーターを効率良く動かすとともに回生ブレーキの効率を高めることができる装置の導入を進めます。2023年度までに京王線車両の約1/3を新型装置に置き換える予定です。



(注) 横軸は未装備車の使用電力量を100とした場合の数値

MESSAGE

今後もさらなる省エネルギー化を目指して

「鉄道は環境にやさしい交通機関」といわれていますが、エネルギーを多く使用する企業の社会的責任を果たすため、回生電力の有効活用やVVVFインバータ制御装置の導入などの省エネルギー化に努めてまいりました。

現状に満足することなく、今後もさらなる省エネルギー化を目指して、新型VVVFインバータ制御装置の導入など、環境にやさしい施策を推進してまいります。



鉄道事業本部
計画管理部
計画担当 課長補佐
河辺 恵介

※1：VVVF インバータ制御装置 … 電車の加速力や速度などに応じて、電圧や周波数を変化させながらモーターを効率よく動かす装置。

※2：回生ブレーキ … 電車がブレーキをかけた際にモーターを発電機として動作させ、発生した電力(回生電力)を架線に戻すことで、ほかの電車が使えるようにする装置。

環境マネジメント

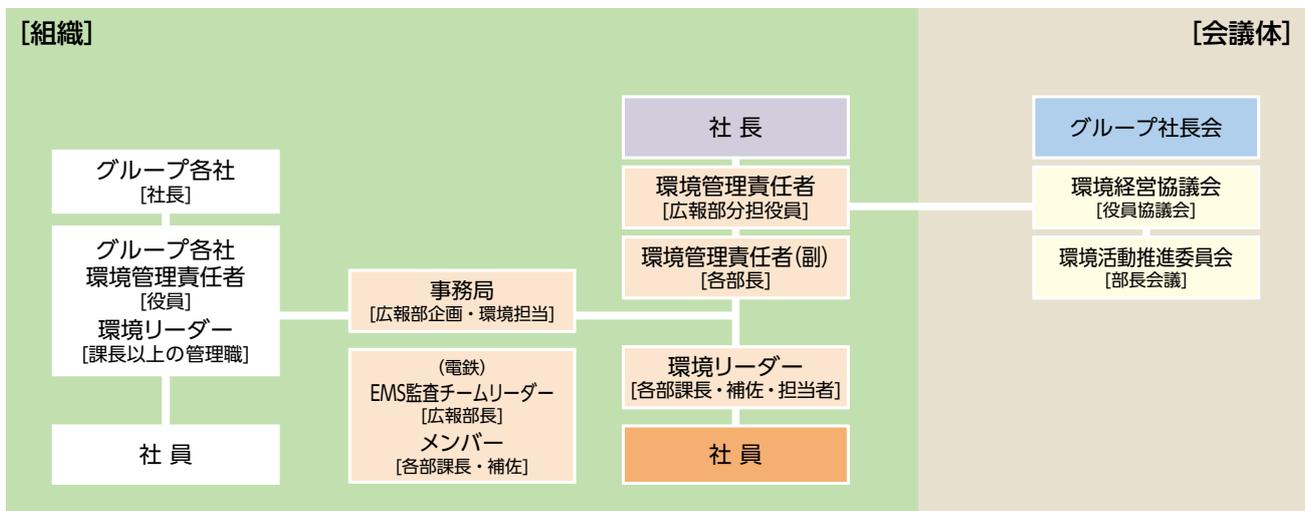
推進体制

当社では、本社をはじめ鉄道現業を含めたすべての職場において、国際標準規格ISO14001を参考に独自のEMS(環境マネジメントシステム)を構築・推進し、その活動は環境経営協議会にて経営層へ報告・承認を受けています。また、京王グループ社長会を通じてグループ各社に環境マネジメントを徹底しています。

2015年度も引き続き、低炭素社会・循環型社会・自然共生社会の実現に向けたレベルアップに努めています。

グループ会社では、ISO14001を3社、グリーン経営認証を6社、エコアクション21を1社で取得しています。そのほかの各社は、ISO14001またはエコアクション21を参考にEMSに取り組んでいます。

■京王グループEMS推進体制



京王グループ各社の第三者認証取得状況

分類	会社名
ISO14001	認証取得(3社) ●京王設備サービス ●京王建設 ●京王エージェンシー
グリーン経営認証	認証取得(6社) ●京王電鉄バス ●京王バス東 ●京王バス中央 ●京王バス南 ●京王バス小金井 ●京王運輸
エコアクション21	認証取得(1社) ●東京特殊車体

監査・教育

■EMS内部監査

当社はEMSの有効性と社員の自覚を確認するため、毎年各部管理職1人以上のEMS監査員を選出し、新任監査員は有限責任監査法人トーマツによる専門教育を受けた後、部署間相互による内部監査を実施しています。

■環境教育

環境意識やEMS理解度の向上など必要性を明確にした上で、体験を重視した環境教育を実施しています。

■主な教育実績(2014年度)

名称	時期	対象	人数
京王 クリーンキャンペーン	5月 (10月中止)	グループ社員、一般	1,123名
自然!はっけん! エコキャンプ	8月	グループ社員、一般	62名
EMS監査員養成研修	12月	新任監査員	9名
廃棄物管理勉強会	11月	グループ実務担当者	96名
廃棄物処理施設視察会	3月	グループ実務担当者	47名

鉄道事業部門の中期環境目標：電車の運転用電力を1960年代比で45%削減

鉄道で消費する電力は、電車の運転に使用する電力と、駅施設（照明、昇降機、空調設備など）や保安設備（踏切、信号機など）などに使用する付帯電力に大別できます。

当社では、このうち電車の運転に使用する電力について、最も有効な施策である車両のVVVFインバータ制御化を積極的に進め、省エネルギー化を推進することで、回生ブレーキとあわせて2014年度における運転原単位（1車両1km走行あたりの消費電力量）を1960年代比で45%削減することを目標としていましたが、2012年度に達成しました。



開発事業部門の中期環境目標：東京都の基準(8%)を超える12%のCO₂排出量削減

東京都環境確保条例の対象となる大規模8物件^{※1}では、基準値^{※2}に対し第一計画期間（2010～2014年度の5カ年）で年平均8%のCO₂削減義務が課せられています。

当社では、空調設備・ボイラーの高効率化、照明のLED化などの省エネルギー施策の推進や節電運用を図り、2015年11月提出予定の第一計画期間（2010～2014年度の5カ年）の届け出では、CO₂排出量削減義務（年平均8%）を大幅に上回る年平均18%を削減できる見込みです。

第二計画期間（2015～2019年度の5カ年）においても、新たなCO₂排出量削減義務を達成できるよう省エネルギー施策を推進します。

●大規模ビル8物件のCO₂排出量削減実績と目標



※1 京王プラザホテル新宿、京王プラザホテル八王子、京王プラザホテル多摩、京王品川ビル、京王八王子明神町ビル、京王百貨店新宿ビル、京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンター、京王八王子ショッピングセンター

※2 「基準値」とは、2002～2007年度のうち任意の連続した3カ年におけるCO₂排出量の平均値をいいます。

低炭素社会を目指して

電力の削減・CO₂排出量削減

■京王電鉄バスグループ環境配慮型ビル

京王電鉄バスグループが府中市に建設した京王府中晴見町ビル(本社・営業所)には、冷暖房効率を高めるペアガラスや消費電力の低いLED照明を取り入れています。また、建物壁面および屋上を緑化しており、環境にやさしい建物になっています。



京王府中晴見町ビル

■電気バス・ハイブリッドバス

西東京バスでは、羽村市から運行を受託しているコミュニティバス「はむらん」において、定期路線バスでは日本初となる小型電気バスによる運行を2012年3月から開始しています。

また、京王電鉄バスグループ・西東京バスでは、2012年から最も負荷のかかる発進時はモーター動力のみで駆動して燃費を抑え、減速時は高性能リチウムイオンバッテリーがエネルギーを効率よく回収するシステムを採用したハイブリッドバスを一部路線で導入しています。



ハイブリッドバス

■ハイブリッドタクシー・アイドリングストップ車

京王自動車では、タクシーにハイブリッド車やアイドリングストップ車を導入し、エネルギーの効率利用に取り組んでいます。



ハイブリッドタクシー

■エコドライブ

京王グループの運輸事業会社では、デジタルタコグラフ※やエコドライブ管理システムの導入、社員教育の実施など、燃費向上に向けた取り組みを行っています。

※デジタルタコグラフ:速度とエンジン回転数を数値化して記録する装置です。

■キラリナ京王吉祥寺

建物の壁面と屋上を緑化しており、屋上は憩いの場としてもご利用いただけます。また、壁面の緑化への灌水(かんすい)については、井戸水を使用することで、貴重な水資源を守っています。

そのほか、館内の照明にLEDを採用することで、年間を通じた使用電力削減に取り組んでいるほか、氷蓄熱システムを導入し、電力需要の下がる夜間電力を利用して氷を作り、日中の冷房に利用することで、夏場のピーク時における省エネルギー化を図っています。



キラリナ京王吉祥寺

低炭素社会を目指して

■メルクマール京王笹塚

京王重機整備が笹塚駅隣接地に建設した「メルクマール京王笹塚」は、敷地内に地域交流の場として活用できる広場を設けているほか、屋上・テラスの緑化など笹塚のシンボルである玉川上水から敷地内へと続く緑のネットワークを作っています。

緑化のほかにも、水平庇と高遮熱断熱ガラスなどを取り入れ、ヒートアイランド現象軽減などを図っています。



メルクマール京王笹塚

■LED照明導入

当社およびグループ各社では、ショッピングセンター・オフィス・ホテルなどの施設において、LED照明を積極的に導入しています。



聖蹟桜ヶ丘SC B館2階

再生可能エネルギーの活用

京王グループでは、再生可能エネルギーの活用に積極的に取り組んでいます。

太陽光発電

- | | |
|-------------------------|-----------------------------|
| 1 芦花公園駅 | 7 高幡不動産現業事務所
(乗務区・施設管理所) |
| 2 永福町駅 | 8 高幡不動産車両基地 |
| 3 京王聖蹟桜ヶ丘
ショッピングセンター | 9 明大前駅 |
| 4 京王電鉄バス
桜ヶ丘営業所 | 10 若葉台駅 |
| 5 京王れーるランド | 11 メルクマール京王笹塚 |
| 6 高尾の森
わくわくビレッジ | 12 相模原市(緑区三井、緑区中野) |



風力発電

- F1 高尾の森わくわくビレッジ
- F2 メルクマール京王笹塚

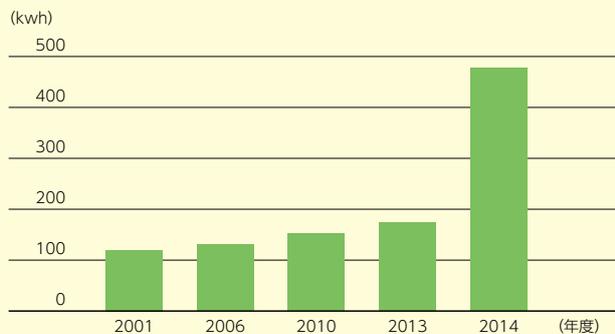


発電床

- H 京王聖蹟桜ヶ丘
ショッピングセンター



■これまで設置した太陽光発電の合計発電能力の推移

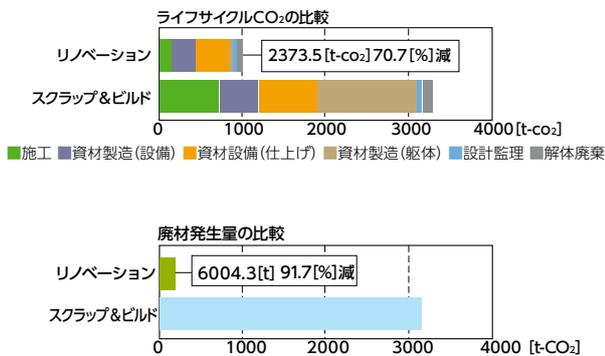


循環型社会を目指して

資源の有効活用

■環境負荷を低減した「リノベーション事業」を展開

既存の建築物をリニューアル・再生し、魅力ある住宅を供給するリノベーション事業は、限られた資源を有効に使いCO₂排出量を削減する、地球環境にやさしい手法です。リビタが手がけた「リノア多摩川CORTE」では、省エネルギー改修を行うことで、ライフサイクルCO₂^{※1}を70%削減したほか、廃材発生量^{※2}を91%削減することができました。



※1 ライフサイクルCO₂とは、建物の建設から運用、解体までのライフサイクルを通じて排出される二酸化炭素(CO₂)の量を指します。

※2 廃材発生量とは、建物を解体した場合に発生する材料を指します。建物が与える地球温暖化への影響を評価する指標です。

TOPICS

■SHARE PLACE 聖蹟桜ヶ丘

2015年2月にオープンした「SHARE PLACE 聖蹟桜ヶ丘」は旧京王電鉄社員寮をリノベーションしたもので、多摩地区最大級のシェア型賃貸住宅です。

施設の一部を、公立大学法人首都大学東京の国際学生宿舎として利用してもらうことで、周辺・沿線社会人や学生に加え、留学生も住む、国際交流が体験できるコミュニティとして運営しています。



■エコバッグ・レジ袋削減

京王百貨店では、エコバッグを販売してお客様にマイバッグご持参の呼びかけを行っています。なお、収益は公益社団法人日本山岳会「高尾の森づくりの会」に寄付しています。また、京王ストアでは、レジ袋をご辞退いただくと、2円引きのサービスを行っています。

■ECOステイ

京王プレッソインでは、環境保護の一環として「ECOステイ」を推奨しています。「ECOステイ」は連泊のお客様を対象に、申し出いただくと、タオルやシーツを交換せずに清掃を行い、クリーニングの回数を減らして水資源保護・CO₂排出削減を図るものです。また、ご協力いただいたお客様には、ミネラルウォーターなどをプレゼントしています。



京王プレッソイン赤坂



■車両洗車時の節水

若葉台工場では、車両や部品の洗浄などに用いる水の使用量を削減するため、「処理水再利用装置」を導入しています。

この装置で、使用済みの水の汚れを取り除き、洗浄水などに再利用しています。現在、洗浄に用いる水の約40%はこの装置により処理されたものです。

また、若葉台車両基地と高幡不動産車両基地では、車両洗浄に使用する水を従来と比べて約50%削減できる車両洗浄装置を導入しています。



節水型車両洗浄装置

■鉄道車両

京王線・井の頭線を走っていた電車が、色やデザインを変えて現在でも全国各地の鉄道で活躍しています。

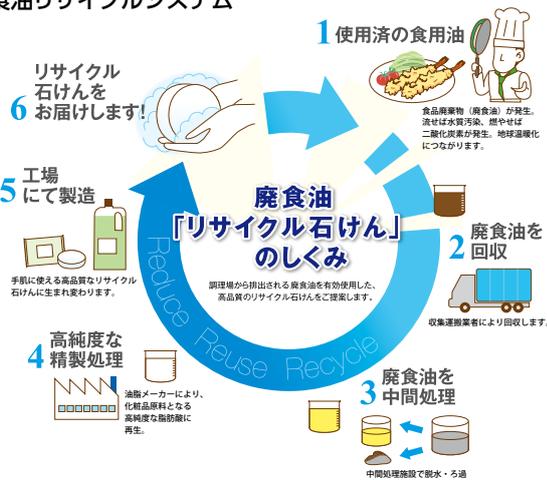
循環型社会を目指して

■廃食油のリサイクル
(京王グループ6社)

京王グループ6社*は、レストランなどから排出した廃食油を、石けんにリサイクルしています。2014年度は52事業場から約211tの廃食油を回収、有効利用しました。

*京王電鉄、京王百貨店、京王リテールサービス、京王プラザホテル、京王レクリエーション、レストラン京王

廃食油リサイクルシステム



廃食油を石けんにリサイクル

株式会社荒木

専務取締役 荒木 敬大 様

当社は昭和2年の創立以来、石油製品を通して京王グループ様とは長いお付き合いをさせていただいております。環境保全への意識が強い今日、廃食油から製造できるリサイクル石鹸の取り扱いを8年前より始めました。京王グループ様では、飲食店から排出される廃食油の回収もあわせて行っており、循環型のリサイクルフローが完成しております。今後もリサイクル石鹸を通じて京王グループ様の環境活動に貢献していけるよう、より一層邁進してまいります。



■京王百草園の竹灯籠

京王百草園では、園内にある竹林から孟宗竹（モウソウチク）を間引きし、その竹を加工しろうソクを入れた灯籠を紅葉が美しい時期に灯すイベントを開催しています。



■緑化廃棄物処理

京王百草園や京王レクリエーションでは外部会社と協力し、京王百草園内や桜ヶ丘カントリークラブのコースで発生した緑化廃棄物（折れ枝・落葉など）を、パルプチップやバイオマスチップにリサイクルする事で堆肥や燃料として有効利用する取り組みを行っています。



自然共生社会を目指して

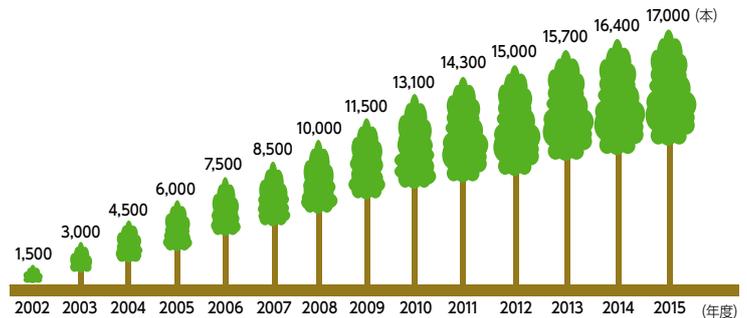
生物多様性の取り組み



■継続的に植樹活動を実施

京王グループは、2002年から13年間にわたって、公益社団法人日本山岳会「高尾の森づくりの会」が、裏高尾（小下沢国有林）で行う植樹祭などの森林再生活動を支援しています。

2015年までに、累計17,000本の樹木を提供しました。



14年間で17,000本の苗木を提供

■種子から育てる苗木プロジェクト

公益社団法人日本山岳会「高尾の森づくりの会」と京王グループが植樹する苗木を地元の小学校とともに育てる「種子から育てる苗木プロジェクト」を2013年から開始しました。

八王子市立城山小学校を訪問し、児童との種植えをはじめ、里山に暮らす生き物の痕跡展示、森林作業の道具説明などの環境教育授業を行っています。



成長した苗木

■自然!はっけん!エコキャンプ

2006年から体験学習施設「高尾の森わくわくビレッジ」において、夏休みに小学生を対象とした1泊2日のキャンプを実施しています。キャンプには社員がボランティアで参加し、グループリーダーとして子どもたちの生活をサポートしています。



植物観察

自然共生社会を目指して

■植樹地の維持管理

京王グループ社員と公益社団法人日本山岳会「高尾の森づくりの会」とが連携し、高尾山エリア（一丁平園地）の下草刈りを行っています。2014年度からは、高尾山への愛着、環境意識の醸成を目的として、新入社員研修にも組み込まれています。



下草刈りの様子

■高尾の森 親子森林体験スクール

森林再生活動を支援している裏高尾（小下沢国有林）において、公益社団法人日本山岳会「高尾の森づくりの会」と協力し「高尾の森 親子森林体験スクール」を開催しています。このスクールは小学4年生～中学3年生のお子様と保護者の方40名を募集し、植樹や下草刈り作業の体験、植物や水生生物の観察など自然との触れ合いを通じて森の大切さを学びます。



植樹の様子

森林体験スクール



スタッフ 金子 春枝 様

高尾の森親子森林体験スクールでは3回を1期として森林作業だけではなく、森の学びとして高尾の森に住む動物の映像や水生生物観察、自然観察などを通して豊かな高尾の森の様子をお伝えしています。

東京なのに「こんなに豊かな川があったんだ。」「こんなにたくさんの動物たちが住んでいたんだ。」など参加された方の反響は大きく、より森への理解を深め森林作業にも熱心に取り組んでいただいています。

子どもたちの健やかな成長と豊かな森を守り育てて行こうとする京王電鉄さんと高尾の森づくりの会の情熱から始まったスクールは少しずつではありますが、確実に子どもたちの心に希望の種をまいてくれることでしょう。

■京王クリーンキャンペーン(高尾山・多摩川)

1991年から沿線地域の環境保全を目的に、毎年高尾山や多摩川の清掃活動を行っています。この取り組みは、京王グループ社員をはじめ、地域の皆様にも参加いただいています。

2015年5月には、新緑の高尾山で、清掃活動のほかに新たにゴミ持ち帰りの啓発活動を実施し、一般のお客様と京王グループ社員合わせて895人が参加しました。2014年には、稚鮎の放流体験を行い、稚鮎約1,000匹を放流しました。



京王クリーンキャンペーン(高尾山)



稚鮎放流体験の様子

■レンゲショウマ保全

御岳登山鉄道は、御岳山に群生し絶滅危惧種に指定されている山野草「レンゲショウマ」の保全活動として、みたけ山観光協会などと協力し、群生地での下草刈りやハイキングコースの整備を行っています。また、夏の開花時期にガイドとともに歩くハイキングイベントや写真家が撮影したレンゲショウマの写真展を開催しています。



ハイキングの様子



レンゲショウマ

自然共生社会を目指して

■里地里山保全

京王沿線の多摩丘陵には桜ヶ丘公園や長沼公園、小山田緑地、丘陵に入り込んだ谷戸をはじめ里地里山の風景や自然が点在しています。多摩の丘陵の里地里山は、貴重な動植物に出会い、歴史を伝える史跡があり、自然と共生していたかつての生活もうかがい知ることができます。

京王グループではこの里地里山の素晴らしさを知っていただくために、散策マップの作成などを通じ、日本の原風景である里地里山の保全に協力しています。



里地里山ウォーキングコース



小山田緑地の田んぼの保全活動

■屋上庭園「ふくにわ」

2011年3月にオープンした「京王リトナード永福町」には、地域の方の憩いの場として屋上庭園「ふくにわ」を併設しています。サクラ・キンカン・ユズなど季節の木々や草花が香るこの庭園は、環境省が主催する「2010年度『みどり香るまちづくり』企画コンテスト」に入賞しました。



屋上庭園「ふくにわ」

沿線の緑化

■線路脇の緑化

1991年から、線路脇の雑草には除草剤を使わず、人の手による草刈りを行っています。また、降雨による法面の崩壊を防ぐとともに、お客様に沿線風景を楽しんでいただくことを目的として、線路脇へアジサイ・ツツジ・サザンカなどを植栽し、緑化を進めています。井の頭線沿線の緑化の取り組みは、「杉並『まち』デザイン賞」を受賞しました。

また、多摩動物公園駅では、見て楽しめるよう動物の形をした植栽を植えるなど、景観に配慮した植栽を実施しています。



線路脇の緑化



多摩動物公園駅にある動物の植栽

京王電鉄

工務部 施設管理所 軌道担当 **金子 亮介**

京王沿線にお住まいの方や電車をご利用される方など、より多くのお客様に沿線のアジサイを楽しんで頂けるよう精一杯手入れをしています。最近では多摩動物公園駅にある動物の形をしたトピアリーなど、植栽の形にも趣向をこらし、動物園にお越しになったお子様にも喜んで頂けるよう、管理していきたいと思っています。



そのほかの取り組み

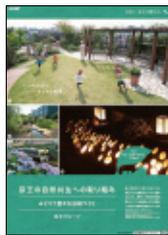
社会・環境コミュニケーション

■環境・CSRポスター

京王グループの社会・環境活動を紹介するポスターを制作し、お客様とのコミュニケーションを図っています。「京王キッズプラッツ」や「環境への取り組み」などの活動を取り上げ、お客様からのご意見をいただけるように駅の「京王PRボード」に掲示しています。



京王キッズプラッツ



環境への取り組み

周辺環境への配慮

■電車の走行音の低減

車輪の振動を自動的に検出するセンサーを京王線・井の頭線に各1カ所設置し、車輪のフラットによる騒音・振動を早期に発見・改善しています。



車輪の削正

車両基地で車輪の削正や交換を行いフラットをなくし、騒音・振動・乗り心地を改善します。

今後について

2014年度を目標年度としていた中期環境目標の達成を受け、2015年度以降の中長期目標を各部門にて設定いたします。

鉄道事業部門：

電車の運転用電力を2020年度に10%削減(2012年度比)

電車の運転に使用する電力を削減するため、車両のVVVFインバータ制御化を進め、2012年度には全営業車両への導入を完了しました。今後はさらなる省エネルギー化を図るため、新型VVVFインバータ制御装置の導入を進めていくほか、車内照明のLED化を順次実施していきます。

これらの環境施策に継続して取り組む事で、2020年度における運転原単位(1車両が1km進む際に使用する電力量)を2012年度比で10%削減することを目指します。

開発事業部門：

東京都のCO₂排出量削減義務(17%)の達成

第二計画期間(2015~2019年度の5カ年)では、第一計画期間(2010~2014年度の5カ年)で対象だった大規模ビル8物件(61ページ下*1を参照)に加え、キラリナ京王吉祥寺も対象となることが想定され、さらに、基準値(61ページ下*2を参照)に対して年平均17%削減というより高いCO₂排出量削減義務が課せられます。

第一計画期間に引き続き、照明のLED化等の省エネルギー施策の推進を図るだけでなく、削減余地の少ないキラリナ京王吉祥寺も含めて各種クレジット制度の活用や運用方法の改善を図り、部門一体となって目標達成を目指します。

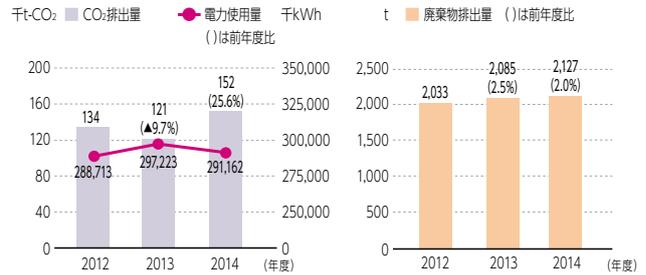
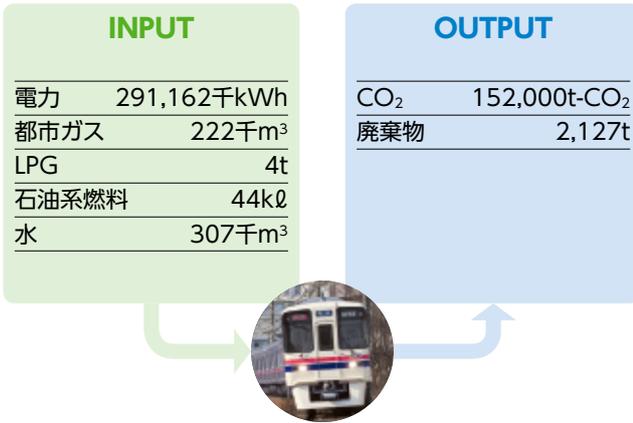
環境関連データ

環境負荷の把握

当社には「鉄道事業部門」、土地・建物の賃貸・販売を行う「開発事業部門」、会社全般の管理業務を行う「一般管理部門」があります。それぞれの事業特性に応じて、資源の使用(インプット)とCO₂・廃棄物の排出(アウトプット)を定量的に把握し、企業活動に役立てています。

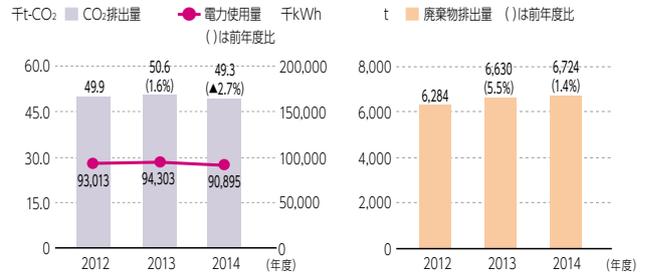
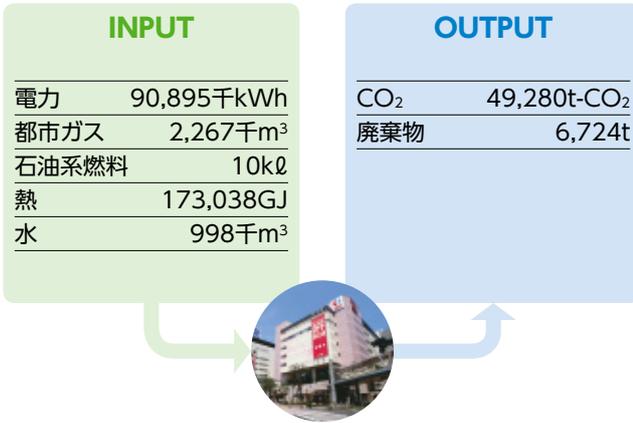
2014年度の環境負荷のレビュー

鉄道事業部門



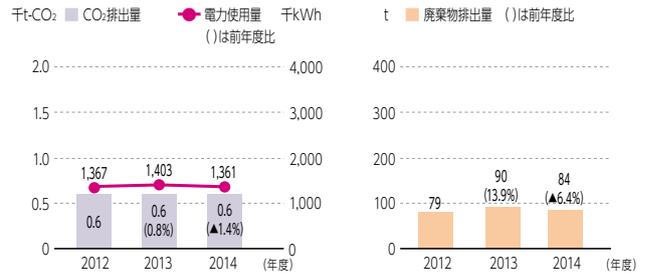
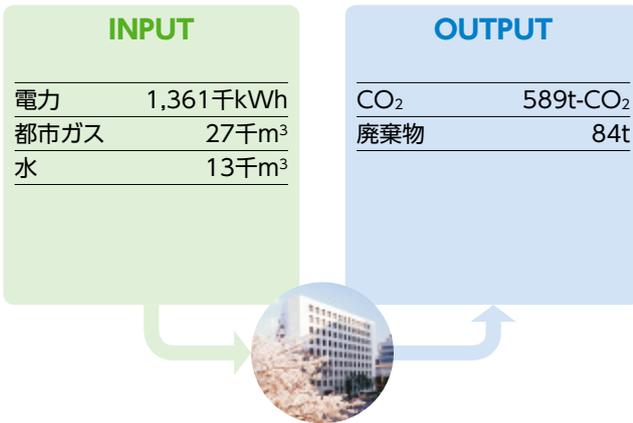
集計対象は、電車の運行、駅および現業事務所です。電力使用量が減少したにもかかわらず、CO₂排出量は電力会社の排出係数の増加により前年度に比べ、25.6%増加しました。

開発事業部門



集計対象は、東京都環境確保条例に基づく大規模8事業所です。CO₂排出量は前年度に比べ、2.7%減少しました。

一般管理部門



集計対象は、本社ビルおよび福利厚生施設です。CO₂排出量は前年度に比べ、1.4%減少しました。

環境会計

環境保全に向けて、2014年度は約48億円の環境投資・費用を行使しました。

当社は、環境負荷の低減に向けて、列車の騒音振動防止や、駅施設やオフィスビル・店舗などへの高効率照明をはじめとした環境配慮設備の導入による省エネルギー化、廃棄物の分別・リサイクルなどのレベルアップに向けて、環境投資を継続しています。

2014年度は、回生電力貯蔵装置や駅舎補助電源装置の導入など新しい環境施策に取り組んだ一方、調布駅付近連続立体交差事業の投資額が減少したことなどにより、環境投資・費用についても全体で前年度比9.1%の減少となりました。

2014年度の環境保全コスト(投資・費用額)

(単位:百万円)

内容	主な取り組み	具体的内容	投資	費用
(1) 事業エリア内コスト			2,737	2,006
① 公害防止コスト	● 騒音振動防止 ● 大気汚染防止 ● 水質汚濁防止	○ 連続立体交差化 ○ ロングレール交換 ○ 草刈 ○ 低VOC塗料 ○ 分岐器床板更換	1,198	724
② 地球環境保全コスト	● 省エネルギー化 ● モーダルシフト ● オゾン層破壊防止	○ 空調機更新 ○ 回生電力貯蔵装置新設 ○ エレベーター新設 ○ ノンフロン空調機更新	1,070	155
③ 資源循環コスト	● 廃棄物減量 ● 廃棄物処理・処分 ● 廃棄物リサイクル	○ PASMO*関連費用 ○ 駅清掃費 ○ 車両清掃費 ○ 節水型トイレ化 ○ 本社ビル清掃・リサイクル	469	1,127
(2) 管理活動コスト	● 景観保持 ● 自然保護・緑化 ● 教育・啓発	○ 植栽管理 ○ 環境アセスメント ○ 環境報告書制作 ○ 環境啓発ポスター制作	11	113
(3) 社会活動コスト	● 自然保護・緑化 ● 環境保全の寄付 ● 社会的取り組み	○ 京王クリーンキャンペーン ○ 植樹活動・保全・支援 ○ 親子森林体験スクール ○ 自然観察イベント	0	4
合計			2,748	2,123
コスト総計			4,871	

*PASMOは、株式会社パスモの登録商標です。

【対象期間】

2014年4月1日～2015年3月31日

【対象範囲】

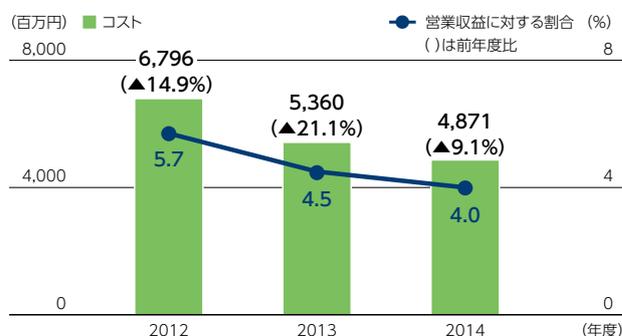
当社の鉄道事業部門、開発事業部門、一般管理部門で発生した環境保全コストを対象としています。

(京王グループ各社で発生したコストは含んでいません)

【算定基準】

- 「環境省環境会計ガイドライン(2005年版)」および「民鉄事業環境会計ガイドライン(2008年版)」を参考に集計しています。
- 環境保全コストとして確実に把握したもののみ計上しています。
- 減価償却費は計上していません。

環境保全コストの推移





多くの登山客・観光客に親しまれている高尾山。その玄関口である高尾山口駅周辺の整備やさまざまな施策の実施、高尾山に関連した施策を共通ブランド化してプロモーション展開を行うなど、地域と一体となり高尾山エリアの活性化を図っています。

観光地の玄関口としての 雰囲気・機能強化

駅舎リニューアル・駅前広場等整備

新たな魅力の創出

京王高尾山温泉の開業

地元連携による魅力向上

グループ会社、自治体、地元企業等
と連携・協力した施策の実施

オリジナル商品の 開発と販売

より魅力的なお土産品や
名物の販売

高尾山口駅舎のリニューアル

高尾山薬王院をイメージしたダイナミックな屋根が特徴的である高尾山口駅舎は、東京都指定天然記念物である「高尾山のスギ並木」にちなみ、和の風合いを持った木組みによって、高尾山の多様な魅力を表現しています。行灯風の照明がホームを優しく照らし、案内板に天狗を入れるなど、高尾山ならではの演出をしています。

「木文化の伝統の大切さ」を表現した駅舎では、一部に地元多摩産杉材を使用しているほか、LED照明の採用や節水型トイレの増設など環境に配慮しています。



コンコース



ホームの行灯風照明と天狗の駅名看板

京王高尾山温泉 / 極楽湯

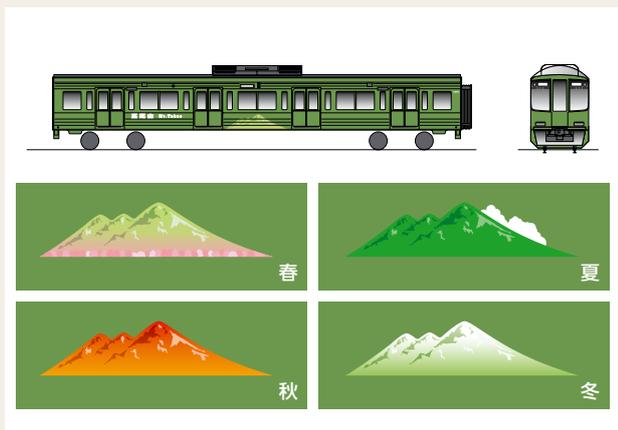
京王高尾山温泉 / 極楽湯は、高尾山に登山された方たちの心身のリフレッシュとともに、周辺にお住まいの皆様が日常的に楽しめるような施設として2015年10月下旬に開業予定です。



温泉施設外観パース(イメージ)

ラッピング電車

四季折々の高尾山の自然をイメージしたラッピング電車を運行し、年間を通じて高尾山の魅力を発信します。



ラッピング電車イメージと側面に描かれる四季ごとの高尾山

バス路線の新設

高尾エリアの回遊性を高めるために、小仏と高尾山口駅、高尾山口駅と京王八王子駅を結ぶバス路線を新設します。この路線では高尾山の樹木と梅をイメージしたラッピングと、木目調の内装をしつらえた車両を運行します。



高尾山マルシェ

高尾山口駅前広場で、地元八王子産のとれたて野菜やお菓子、お酒などを販売しています。(不定期開催)



TAKAO 599 MUSEUM

TAKAO 599 MUSEUMは、高尾山の美しい四季の映像投影や植物・昆虫の展示、また登山ルートや特徴の紹介など、施設全体に高尾山の魅力を詰めこんだミュージアムです。

京王エージェンシーが指定管理者として、八王子市から施設の管理運営業務を受託しています。



Photo/Taiji Yamazaki

楓 kaede

高尾山口駅前にある売店「楓 kaede」では、食料品・お土産品・登山用品等の販売に加え、限定の高尾山ロゴ入りの商品などを取り扱っています。



京王電鉄の概要

会社概要 (2015年3月31日現在)

社名	京王電鉄株式会社
会社設立	1948年6月1日
本社所在地	〒206-8502 東京都多摩市関戸一丁目9番地1 (登記上の本店所在地 〒160-0022 東京都新宿区新宿三丁目1番24号)
資本金	590億23百万円
従業員数	2,416名
営業内容	【鉄道事業】 路線 京王線、高尾線、相模原線、競馬場線、動物園線、井の頭線 駅数 69駅 営業キロ 84.7km 輸送人員 年間6億3,272万人(2014年度実績) 車両数 849両 (貨車5両および総合高速検測車1両を含む) 【開発事業(土地、建物の賃貸業・販売業など)】 新規賃貸資産の開発 賃貸資産の管理・営業 ショッピングセンターの管理・運営 住宅地などの販売
グループ会社数	全44社

京王グループ会社一覧

運輸業

- 京王電鉄(鉄道)
- 京王電鉄バスグループ
 - 京王電鉄バス
 - 京王バス東
 - 京王バス中央
 - 京王バス南
 - 京王バス小金井
- 西東京バス
- 京王自動車
- 京王運輸
- 御岳登山鉄道*

レジャー・サービス業

- 京王プラザホテル
- 京王プラザホテル札幌
- 京王プレッソイン
- 京王観光
- 京王エージェンシー
- 京王レクリエーション
- レストラン京王
- 京王コスチューム*
- フレッシュティージャパン*

その他業

- 京王設備サービス
- 京王重機整備(車両整備)
- 東京特殊車体
- 京王建設
- 京王ITソリューションズ
- 京王アカウンティング
- 京王ビジュアルサポート
- 京王ユース・プラザ
- 京王シンシアスタッフ
- 京王子育てサポート
- 京王ウェルシステージ
- 京王フェアウェルサポート
- 新東京エリート*

流通業

- 京王電鉄(ショッピングセンター)
- 京王百貨店
- 京王ストア
- 京王リテールサービス
- 京王書籍販売
- 京王パスポートクラブ
- 京王アートマン
- 京王食品
- 京王グリーンサービス
- エリート*
- 京王友の会*

不動産業

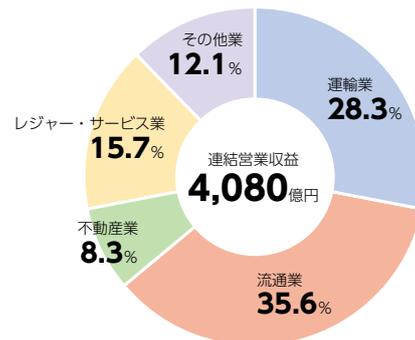
- 京王電鉄(開発)
- 京王不動産
- 京王地下駐車場
- リビタ
- 京王重機整備(賃貸)

*印は持分法適用会社です。なお、事業セグメント分類上、京王電鉄と京王重機整備が重複して含まれています。(2015年9月末現在)

連結業績の推移



連結営業収益の構成比率



第三者意見

本報告書は、報告内容や活動の継続的な改善につなげるため、外部有識者の意見をいただいています。



立教大学経営学部教授
経済学博士

高岡 美佳

京王グループのCSRレポートに第三者意見を寄せるのは今回で2回目となります。本レポートは、「つながりあうすべての人に誠実であり」、「環境にやさしく」あることを通じて「信頼のトップブランド」となることを理念に掲げる京王グループの多角的な活動を、安全・社会・環境の3つの側面から捉えて報告しています。昨年度に引き続き、ステークホルダーの生の声や現場の写真も多く掲載されており、CSRコミュニケーションの点から見て優れたレポートと言えるでしょう。

トップメッセージにもあるように、京王グループは「安全」を最重要課題ととらえ、「安全は最大の使命であり、最高のサービスである」という方針のもとで事業を展開しています。2014年度は、調布駅付近の連続立体交差事業の完了に引き続き、笹塚駅～仙川駅間の連続立体交差事業に着手しました。また、ハード面だけでなく、ソフト面の安全施策も着実に進展しています。ベテラン社員やOBが過去の体験から学んだ教訓を伝え、後輩社員に安全文化を伝承するとともに、失敗情報についてオープンに話し合い活用する風土づくりを目指す「京王失敗学会」を2014年度に立ち上げましたが、その目的は、社員が安全について自ら考え学び続ける環境づくりにあるとのこと。経済学が示唆するように、生起確率が計算でき事前に対策が可能な「リスク」だけでなく、世の中には生起確率が計算できない「不確実性」が存在します。いざ不確実性に直面した時、必要なことは社員一人ひとりが自らの頭で考えてお客様のために「安全」を確保すべく動くことです。その意味で、この取り組みは、まさに「さらなる安全性向上」を目指すものであり、真の社会的責任を果たそうとする京王グループの姿勢を高く評価したいと思います。

社会性報告のパートでは、京王グループが多様で幅広い世代の方々を対象としたユニバーサルなサービスを展開していることが記されています。また、「住んでもらえる、選んでもらえる沿線」づくりを積極的に推し進めており、2014年度は、キラリナ京王吉祥寺、メルクマール京王笹塚をオープンするとともに、高尾山口駅舎のリニューアルを実施するなど、「京王ほっとネットワーク」のさらなる充実とあわせて、魅力的で多世代が暮らしやすい街づくりが進んでいます。なお、今年度は、女性管理職数と比率、女性役員数、育児休業取得者数、育児休業復帰率、再雇用率などの数値が開示され、人材・雇用に関するデータが充実しました。着実な進展を評価します。

鉄道は環境負荷の小さい交通機関ですが、京王グループの中核を担う京王電鉄はさらなる環境負荷の低減を目指して、さまざまな取り組みを行っていることが環境報告からわかります。CO₂のアウトプット数値からわかるように、グループ全体としては鉄道事業部門での削減余力が大きい。ため、運転用電力の削減が中心的課題となっています。すでに導入済みのVVVFインバータ制御装置と回生ブレーキに加えて、2014年度は回生電力貯蔵装置を堀之内変電所に導入しました。また、駅舎補助電源装置を東府中駅に設置するなど、駅における省エネルギーにも積極的に取り組んでいます。今年度は昨年度比で電力会社の排出係数の大幅な増加により一時的にCO₂排出量が増加したようですが、今後も高い環境意識をキープして、環境負荷の低減に努めていただきたいと思います。

最後に、CSR活動を適正かつ継続的に改善していくためにはPDCAサイクルの充実が不可欠です。次回のレポートでは、京王グループが自ら重要だと考えて実施している主なCSR活動について、目標値、達成度などをぜひ示してはいかがでしょうか。また、中期的にはISO26000の7つの中核主題のフレームワークを使ってCSR活動を整理することも検討してはいかがでしょうか。



この安全・社会・環境報告書の用紙は、環境や地域社会に配慮して管理された森林から生産されたFSC®認証紙を使用しています。

また、インキに含まれる有害な石油系の溶剤(VOC)の一部を、植物性油で代用したインキを使用しているほか、揮発性有機溶剤を含む湿し水を使用しない、地球環境に配慮した水なし印刷方式で作成されています。



京王電鉄キャラクター
けい太くん

京王電鉄株式会社

〒206-8502

東京都多摩市関戸一丁目9番地1

安全・社会・環境報告書に関するお問い合わせ

広報部 企画・環境担当

Tel. 042-337-3106

Fax. 042-337-5536

www.keio.co.jp

2015年9月発行